

TRIUMPH

TRIUMPH

Asahi University Sports 2026-2027

編集・発行 朝日大学体育会

〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851 TEL 058-329-1082(学生・スポーツ支援課)

URL <https://www.asahi-u.ac.jp>

REACH BEYOND

今の自分を超えることは、簡単じゃない。

目標に向かって挑戦し続けても、前に進めない不安。

それでも諦めない人には、どんな景色が見えているのか。

認め合える競争相手、信頼できる仲間、自分を見つめ直す時間…

そこには、きっと、さらに先へ進み続けるための何かがある。

私たちが寄り添い、一緒に越えていくために、新しい想いと

メッセージを届けたい。性別や年齢、立場に関係なく、

挑戦し続ける気持ちを持ち続ける人たちへ。

さあ、一緒に越えていこう。

いつも、その先に向かって。

誰よりも飛ばし、次のステージへ。
道の先には、世界が待っている。

朝日大学保健医療学部
健康スポーツ科学科3年・プロゴルファー

朝日大学ゴルフ部スーパーバイザー
日本ゴルフ殿堂顕彰者

入谷 響 × 森口 祐子 vol.24

朝日大学体育会設立の意義

朝日大学体育会は、本大学のスポーツ活動、文化活動の普及と向上を図り、活性化を推進します。
また、本会は所属する団体の活動を支援して高度化を図るとともに、本大学の建学の精神である
「国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間の知性に富む人間を育成する」
にのっとり、学生の人格形成に寄与します。

CONTENTS

03 巻頭特集 朝日大学保健医療学部 健康スポーツ科学科3年・プロゴルファー 入谷 響 × 朝日大学ゴルフ部スーパーバイザー 日本ゴルフ殿堂顕彰者 森口 祐子

誰よりも飛ばし、次のステージへ。道の先には、世界が待っている。

09 体育会トピックス

11 硬式野球部	25 ホッケー部	39 新体操部
13 ラグビーフットボール部	27 硬式庭球部	41 バスケットボール部
15 バレーボール部	29 自転車競技部	43 ASSC・GMSG
17 相撲部	31 ハンドボール部	45 各種施設
19 卓球部	33 会計研究部	47 メディカルサポート
21 フェンシング部	35 吹奏楽部	49 ファイナンシャルサポート
23 剣道部	37 ゴルフ部	50 就職サポート

MESSAGE



目標に向かって。

朝日大学 学長 大友 克之

朝日大学に学生スポーツおよび文化クラブの強化を目的とした体育会を設置し、今年で25年目を迎える。現在は16種目、およそ796人の学生が体育会に所属し、それぞれのフィールドで、トップレベルの戦いを繰り広げている。

昨今、地方創生が叫ばれる中、地域のスポーツ振興に資する優秀な人材を育成することは大学に課せられた役割である。そのために、体育会は優秀な指導者や、施設・設備を充実させ、教職員一丸となって学生をバックアップしている。

学生諸君は、4年間のステージで、高い志、明確な目的・目標を持ち困難な課題に果敢に挑戦してほしい。そうして乗り越えた経験こそが糧となり、その後のキャリアに生きてくる。



体育会への思い。

朝日大学 体育会 会長 山本 英弘

建学の精神を具現化するため、体育会では文武両道を掲げ、2002年4月からスポーツおよび文化活動の強化に取り組んでいます。これまで、国内はもとより世界レベルのトップアスリートを輩出して参りました。さらに、本大学内に、地域社会との接点を拡充することを目的として、総合型地域スポーツクラブ「(公社)ぎふ瑞穂スポーツガーデン」が設置されています。

私どもは、長年にわたり体育会で培ったノウハウを生かしながら、ぎふ瑞穂スポーツガーデンと共同で事業を推進し、地方の大学としての役割を果たすべく、誰もがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会に寄与して参ります。

夢をつかみたい人に、つかんでほしい。



※BCAA+アルギニン

覚えておいてください。夢に向かってがんばったあなたは、がんばった分だけ弱っています。必要なのは、努力+メンテナンス。
＜ボディメンテ ゼリー＞は、乳酸菌・アミノ酸・タンパク質を同時に摂るという新発想。乳酸菌B240が力を発揮し、
本番で全力を出せるようにあなたを支えます。夢の舞台が見えてきたあなた、メンテナンスを始めませんか。

メンテナンス。努力と結果をつなぐもの。ボディメンテ ゼリー



Otsuka 大塚製薬 お客様相談室 TEL:0120-550708 ボディメンテ公式サイト: <https://www.otsuka.co.jp/bdm/>

誰よりも飛ばし、次のステージへ。
道の先には、世界が待っている。

18歳でプロテストに合格。ルーキーイヤーにJLPGAツアー優勝。

そして、ドライビングディスタンス※、259.38ヤードで第4位。

選ばれし人の道を、朝日大学の学生として、プロゴルファーとして進む入谷響は、

いま何を考え、どんな未来を思い描いているのか。

さらに高みをめざしてともに歩く、

朝日大学ゴルフ部スーパーバイザー森口祐子と語り合った。

※JLPGAツアーにおけるティーショットの平均飛距離。2025年12月1日更新のデータ。



まだできるはず。

だから厳しい指導と、練習に集中できる大学を選んだ。

6歳で、
ボールが飛ぶ楽しさを実感

森口 朝日大学に入学してきた入谷さんと初めて会ったとき、ゴルフをする上で非常に大切なフィジカルの強さを感じました。これまでどんな道をたどってきたのか、少し振り返りましょうか。

入谷 初めてゴルフクラブを手にしたのは6歳のときです。「何かスポーツをさせたい」と思った父が、家の近くあつ



たゴルフ練習場に連れて行ってくれました。貸しクラブで打ってみたら、うまく当たったんです。飛ぶことが楽しかった。それがゴルフとの出会いです。

森口 しっかりとゴルフに取り組もうと思ったのは、中嶋常幸プロが主宰するアカデミーに入ってからですか。

入谷 それまでは週末に「打ちっぱなし」に行く程度だったのですが、小学4年生のときに父から「ゴルフ、毎日続けてみる？」と聞かれました。私の答えは「はい」。ボールを打つことが、「遊び」から「練習」に変わったのはこの頃です。中嶋プロのアカデミーの入塾テストを受けたのも父の勧めでした。小学5年生の私は、週末は実家がある愛知県の豊川から茨城のゴルフ場で行われるレッスンに日帰りで通っていました。

森口 全国中学校ゴルフ選手権などに出場して経験を積み、ゴルフ中心の生活になったのは高校に入学してからでしたね。

入谷 通信制の高校だったので、地元の豊川の練習場やゴルフコースで技術

を磨き続けていました。中部ジュニアゴルフ選手権などに優勝したのは、まさに練習の成果です。

ここなら力が伸ばせる、
と朝日大学へ

森口 朝日大学に進もうと決めたのは、どんな理由からですか。

入谷 高校3年生のときに秋田で行われた試合で、朝日大学ゴルフ部の1期生である中道ゆいさんと一緒にコースを回りました。そのときに大学の様子をお尋ねし、森口先生の指導や練習施設など、恵まれた環境を知りました。実際に大学を訪ね、「これなら力を伸ばせそう」と確信して入学を決めました。

森口 朝日大学ゴルフ部の練習で、入谷さんのヘッドスピードの速さやボールを打つときの迫力を目にして「この子はすぐにプロに受かるだろうな」という雰囲気を感じました。クラブさばき、視線、表情からも非常に強い意志と目標を持っていることが分かりました。



入谷 パワーには自信があるので、ずっとメンタルの弱さが課題と感じていました。

森口 「自分はメンタルが弱い」と思っているのは、実は強さの裏返しです。トッププロほど「怖さ」や「警戒心」を乗り越えるために練習を重ねたり、本を読んで研究したりするなど準備をしっかりとします。スタートラインに立てないほどの強迫観念を持つのは、強い人ならではの能力と思って良いですよ。

森口 祐子

Moriguchi Yuko

朝日大学ゴルフ部スーパーバイザー
日本ゴルフ殿堂顕彰者

富山県富山市出身。1975年プロテスト合格。78年ワールドレディスゴルフトーナメントでツアー初優勝。日本女子オープンゴルフ選手権2勝を含め、ツアー通算41勝で永久シード保持。2019年1月、日本プロゴルフ殿堂（現在の日本ゴルフ殿堂）に選出。



入谷 響

Iriya Hibiki

朝日大学保健医療学部
健康スポーツ科学科3年・プロゴルファー

愛知県豊川市出身。6歳からゴルフを始め、高校時代には中部ジュニアゴルフ選手権などに優勝。2024年、朝日大学1年生でプロテスト合格。25年6月、ニチレイレディスに12アンダーで初優勝。

プロとして技術を磨く。
人として成長を続ける。
それが、次の1勝、世界への近道になる。



2度目の挑戦で、 プロテストに合格

森口 入谷さんがプロをめざそうと思ったのは、いつ頃でしたか。

入谷 練習場に毎日通い始めた小学4年生です。将来の姿を漠然と思い浮かべていました。

森口 最初に夢の入口に立ったのが、高校3年生で受けたプロテストですね。そのときのことを少し思い出してみようか。

入谷 練習にも身体づくりに懸命に取り組みましたが、テスト中にブッシュに2回連続で入れてしまうというミスがあり、結果的に1打差で落ちました。「あの1打さえなければ」と、テストを受けながら自分を追い詰めてしまったことが反省点です。

森口 入谷さんには1回目のプロテストで落ちた経験が絶対に必要だったと思うほど、悔しさが明確な意欲に変わっていました。

入谷 大学1年生で受けた2回目のプロテストは、多くの試合を通して培った経験も生まれました。テスト前の試合ではOBを連発して、80を叩くほど絶不調でした。でも「この調子でどれだけ耐えられるかを試されている」と切り替えることを覚えました。テストの最終日、スタートホールでトリプルボギーを叩いても、「まだ最初だから」と引きずらずに進んでいました。また、苦手な林間コースでは

プロの方々と同じ舞台で戦えるという自信が生まれました。そして、ルーキーイヤーに優勝したい！という強い思いを持つようになりました。その夢が現実となったのが「ニチレイレディス」でした。

森口 勝った瞬間は、どんな気持ちでしたか。

入谷 ほっとしたというのが正直な感想です。崩れそうになったときに支えてくれたのがキャディーさんでした。後続との差が縮まったとき、「あなたは追われる立場ではなく、追う立場。後ろのことは考えず前を見なさい」と言っただけで背中を叩いてくれました。これで気持ちを入れ替えることができました。

アメリカのツアー参戦、 そして世界ランク上位を

森口 ルーキーで一番乗りの勝利は素晴らしいのですが、1勝で喜んでる選手ではありません。年間平均259.38ヤードという飛距離を武器にしながら、第2打、第3打の確実性を身に付けたら次の勝利が自ずと近づいてくるはずですよ。

入谷 まずは優勝回数を重ねて少しでもランキングを上げ。そして、目標であるアメリカのツアーに参戦するため、予選会であるQシリーズに挑戦したいと思っています。世界ランク上位を夢見て、100ヤードの精度の向上と体力づくりに徹底して取り組みます。

「林に入らず、徹底して刻む」という戦略を貫けたことが合格につながったと思います。

森口 結果は7位タイの成績で見事合格。2回目こそ、と私も監督やコーチたちも応援していたのでひと安心しました。ゴルフ部の創部からわずか3年でプロが誕生した背景には、まず「ただ和気あいあいとゴルフをやるのではなく、やる気のある選手を呼ぼう」という朝日大学の意志があります。その上で、スイング分析システムなど最新機器を揃えた練習環境、監督、コーチ、弾道解析のメカニック、トレーナーがチームを組み、一人ひとりが持つ「色」は変えず、さらに色濃くなるような指導が結果につながったと思います。

追われても、前だけを向いて 手にした初優勝

森口 プロ初戦が12位タイ。その後も上位一桁に入る戦いを重ね、自信が徐々についていったように思います。特徴である飛距離は、当初ツアー参加選手のトップを走っていました。さらに、自分でコースを攻略するための戦術を組み立てて、練習でも思った通りの球を打っていました。こうしたことが2025年の6月、「ニチレイレディス」にトータル12アンダーで優勝という結果に表れたのではないですか。

入谷 確かに飛距離は自分の味方になり、

森口 プロとして大事なものは、基本の繰り返し。アドレスやグリップなどの単純な部分ほど迷いが出ます。そこを常にチェックすることが重要です。また、入谷さんも言っているように、キャディーさんとタッグを組んで戦うというのが今のゴルフです。そのためには、自分自身が「ちゃんとした人間になるように研さんを重ね、応援してもらえる選手になる。それを忘れないでください。そして、後輩たちが入谷さんをめざすような存在になってほしいと思います。

入谷 私をめざすのではなく飛び越えるために、朝日大学の素晴らしい練習施設や監督、コーチの方々とどんどん利用してほしいと思います。森口先生、今日はありがとうございました。

森口 私たちは入谷さんやゴルフ部の学生一人ひとりの成長をお手伝いすることが役目です。一緒に前へ進みましょう。



GOLF ゴルフ部所属の入谷響さんが、ツアー 14戦目で初優勝。

ゴルフ部に所属する入谷響さん(保健医療学部健康スポーツ科学科)が、2025年6月に開催されたJLPGAツアー 2025シーズン第14戦のニチレイレディス(千葉県・袖ヶ浦カンツリークラブ新袖コース・パー72)において、トータル12アンダーでツアー初優勝を飾りました。

2024年秋、1年生でプロテストに合格し、2025年3月のダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント(沖縄県・琉球ゴルフ倶楽部)からツアーに参戦。14戦目での快挙となりました。

優勝インタビューで入谷さんは、主催者や大会ボランティア、そしてギャラリーの皆さんに感謝の気持ちを伝えるとともに、将来、アメリカで戦えるプレーヤーになりたいと自身の夢を語りました。

入谷さんと同じようにプロとして努力を重ねる清本美波さん(保健医療学部健康スポーツ科学科)とともに、朝日大学は2人の活躍を応援していきます。



TABLE TENNIS 卓球部員が国際大会で活躍し、金・銀・銅メダルを獲得。

2025年7月17日から24日にドイツのライン・ルール地方で開催された「FISUワールドユニバーシティゲームズ」の卓球競技で、卓球部の岡野俊介さん(経営学部経営学科)と浅田真奈さん(保健医療学部健康スポーツ科学科)が大活躍し、日本のメダル獲得に貢献しました。

この大会は、国際大学スポーツ連盟が主催する大学生のためのオリンピックと言われ、2年に1度開催されます。女子団体は決勝戦で前回王者の中国に勝利し、12年ぶりに優勝。岡野さんが出場した混合ダブルスにおいても中国を破り優勝しました。卓球部の米塚雅弘監督も日本代表コーチとして帯同し、男子チームの試合では選手たちにアドバイスや激励を送りました。

この結果を受けて、2025年7月29日に岡野、浅田両選手及び米塚監督らが太友克之学長を表敬訪問し、メダルを獲得したエピソードなどを喜びとともに語り、太友学長は激励の言葉を贈りました。



ACCOUNTING 令和7年公認会計士試験「論文式試験」に、11人が現役合格。

2025年11月21日、令和7年公認会計士試験「論文式試験」の合格発表が行われ、会計研究部の学生11人が合格しました。現役学生の2桁合格は初となります。朝日大学では、2012年度から高等学校と大学の7年間で公認会計士試験を含む高度な会計試験に挑戦し、合格できるよう支援する会計教育を実施しています。会計研究部での日頃の鍛錬により毎年多くの学生が目標を達成し、累計81人となりました。

こうした実績に加え、朝日大学は岐阜県内の8つの高等学校と簿記会計教育に関する連携協定を締結。さらに「スーパー・アカウンティング・ハイスクール(SAH)」事業で指定された高等学校や団体への支援を行い、地域社会の発展に貢献できる優秀な生徒の修学環境の整備について相互に協力・支援を行っています。



Topics

ASAHI UNIVERSITY SPORTS

体育会トピックス

海外や国内大会での活躍、プロとして念願の優勝、多くの学生が難関突破、さらにはスポーツを通じた地域貢献など、特にご紹介したい朝日大学体育会のニュースをピックアップ。どれも、次の世代の活躍につながる実績です。

TENNIS 岐阜市で開催された、カンガルーカップ国際女子オープンテニス2025を支援。

朝日大学は、2025年4月28日から5月4日に岐阜メモリアルセンター長良川テニスプラザで開催された「カンガルーカップ国際女子オープンテニス2025」(ITF:国際テニス連盟公認 カテゴリーW100は国内最大級)において救急車を常置。太友克之学長が当番医を務め、朝日大学病院が受け入れ医療機関を担当するなどのメディカルサポートを行いました。

また、競技運営には大森俊和監督(PDI岐阜歯科診療所所長)をはじめ、体育会並びに学友会のテニス部員がボーラーとして活動し、ITFからExcellentの最高評価を受けました。

最終日の表彰式では司会・通訳を英語教員の児玉靖明教授、金森香織准教授が担当。朝日大学は、今後もスポーツ活動を通じた地域貢献活動を展開していきます。



SUMO 相撲部が西日本学生相撲選手権大会で2連覇。

2025年6月1日、大阪府堺市大浜公園相撲場で開催された「第99回西日本学生相撲選手権大会」において、相撲部が1部団体戦に優勝。昨年の初優勝に続き見事2連覇を果たしました。

1部リーグの団体戦は、昨年度のインカレ3位の近畿大学、金沢学院大学など7校による総当たり戦で行われ、相撲部は6戦全勝で連覇をつかみ取りました。

試合結果	対 近畿大学	3-2 勝ち	対 愛知学院大学	4-1 勝ち
	対 金沢学院大学	3-2 勝ち	対 九州情報大学	5-0 勝ち
	対 関西大学	3-2 勝ち	対 立命館大学	3-2 勝ち





PICK UP ATHLETE

片野 琉斗

Katano Ryuto
保健医療学部健康スポーツ科学科 4年
出身／市立岐阜商業高校(岐阜県)

日本代表、社会人チーム、慶應義塾大学などで指導してきた名将、後藤寿彦総監督が、土岐商業高校を2回甲子園に導いた工藤昌義監督とともにチームづくりを実践するのが朝日大学野球部だ。後藤総監督はレベルの高いプレーの追求、質の高いチームワークの実践、そして体育会の模範となる大学生活を柱にしたチームをめざす。また、監督は、野球を通じて人間形成と学修の両立を重視し、個々の特徴を生かす。学生野球を知り尽くした2人が掲げるのは、誰かに頼るのではなく全員が全力で戦うスタイル。そのために、選手が主体的に考え、行動し、リーダーシップを発揮できる環境を整える。

練習施設の充実にも力を入れ、全面人工芝が張られた専用球場、屋内練習場を兼ね備え、トレーニングルームも完備。体重や体脂肪、筋肉量を数字化するインボディ測定を導入し、選手の身体や体調をきめ細かに管理するなど、ハードな練習に励むためのケア体制も整っている。こうした日々の積み重ねの結果、岐阜学生野球春季リーグ戦では11年ぶりの優勝を果たし、東海地区大学野球春季選手権大会にも出場。現在の目標は、全日本大学野球選手権大会および明治神宮野球大会での初勝利だ。

ぎふ瑞穂スポーツガーデンで中学生を対象とした野球教室を実施し、地域との交流にも積極的に取り組んでいる朝日大学硬式野球部は、学生主体の全力野球を体現し、一歩ずつ前へと着実に歩みを進めている。



確かな指導力のもと、挑戦を続け、全員全力野球で日本一をつかむ。

BASEBALL

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | 硬式野球部 部員数／113名



指導体制



総監督 後藤 寿彦

朝日大学教授／元日本代表チーム監督・慶應義塾大学監督などを務め、慶應義塾大学では大学日本一を達成。育成した選手には高橋由伸氏(元巨人)ら



監督 工藤 昌義

朝日大学教職課程センター講師／県立岐阜商業高校・専修大学卒業／元東濃実業高校硬式野球部部長／土岐商業高校の監督として2回甲子園に出場



コーチ 藤澤 拓斗

朝日大学学事二課職員／柳ヶ浦高校卒業、西濃運輸、中日ドラゴンズ、JR西日本

外部コーチ 友永 翔太

元中日ドラゴンズ／東海大学付属相模高校・国際武道大学卒業／(株)スリール

外部コーチ 藤田 凌司

元三菱自動車岡崎硬式野球部／県立岐阜商業高校・立教大学卒業／中和医療専門学校

トレーナー 今井 和敬

柔道整復師／朝日大学卒業／(株)さくらリバース

部長 庄司 直人 朝日大学保健医療学部教授／日立第一高校・順天堂大学卒業

副部長 河江 岩男 朝日大学就職支援部部長

副部長 小林 剛宏 朝日大学経理課課長

戦績

2025年度

- 岐阜学生野球春季リーグ戦 優勝
- 岐阜学生野球秋季リーグ戦 3位

部員の主な出身高校

県立岐阜商業／市立岐阜商業／岐阜聖徳学園／岐阜総合学園／岐阜各務野／岐阜農林／長良／岐阜工業／大垣養老／海津明誠／帝京大学／土岐商業／中津商業／関商工／東濃実業／郡上／益田清風／飛騨高山／高山西／クラーク国際／島田商業／湖西／星城／愛知黎明／明野／佐久平総合技術／松本第一／高岡商業／敦賀気比／伊吹／興譲館／広島商業／呉港／明德義塾／小松／福岡大附属若葉／沖縄水産／宜野湾／八重山／エナジックスポート

卒業後の主な進路

中日ドラゴンズ／西濃運輸／本田技研工業／東邦ガス／日本新薬／ニチダイ／エナジックインターナショナル／JR西日本／JR九州／日本製鉄／伏木海陸運送／山岸運送／焼津マリンス／豊田鉄工／パソニックデバイスSUNX／小林クリエイト／ヒサダ／菊水化学工業／JAぎふ／岐阜日野自動車／桑名信用金庫／濃飛西濃運輸／サンメッセ／三甲／伊藤園／富山銀行／大垣共立銀行／イビデン／川崎重工業／ナゴヤドーム／岐阜車体／青山製作所／朝日大学／警察／消防／教員／公務員／ANA成田／ANA羽田／ANA中部空港／ANA沖縄

問い合わせ先

監督／工藤 昌義
TEL／058-329-1085(学生・スポーツ支援課)

年間活動内容

3月下旬～5月上旬	岐阜学生野球春季リーグ
5月中旬	岐阜学生野球春季新人戦
5月下旬	東海地区大学野球春季選手権大会
6月上旬	全日本大学選手権大会
8月下旬～10月上旬	岐阜学生野球秋季リーグ
10月中旬	岐阜学生野球秋季新人戦
	東海地区大学野球秋季選手権大会
10月下旬	東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦(明治神宮野球大会代表決定戦)
11月上旬	東海地区大学野球新人トーナメント戦
11月中旬	明治神宮野球大会
11月下旬	岐阜学生野球1年生大会

PICK UP ATHLETE

清水 悠希

Shimizu Yuki

保健医療学部健康スポーツ科学科 4年
出身／石見智翠館高校(鳥根県)

朝日フイフティーンがめざしているのは、競技力の向上だけではない。ヤマハ発動機ラグビー部出身の吉川充監督が掲げるキーワードは「考動」。ラグビーを通じて「知る・わかる・できる」を経験し、自ら考え、行動できる人を育てていく。その積み重ねが、これまで感じることもなかった心の余裕や視野の広がりにつながり、社会へと羽ばたく力になると考える。

充実した指導体制も大きな特徴だ。U19日本代表や明治大学で指導経験がある土佐忠磨ヘッドコーチに加え、元ラグビー日本代表の太西将太郎コーチ、大畑大介アドバイザーなどがチームを支えることで、選手一人ひとりに目が行き届く環境が整っている。トップクラスのコーチングを受けながら、力を磨き上げていく日々が確かな成長につながっているのだ。

チームカラーは、堅守を軸に15人が1つの身体となって戦うスタイル。全員で前進していく姿勢を貫いている。選手たちのこうした姿はチームの成長に直結し、東海学生セブンズで優勝し、東海学生ラグビーリーグでも優勝を果たした。ただし、ここがゴールではなく、めざすのは全国大学選手権大会準々決勝進出、さらに1つでも多く勝利して上に行くことだ。

地域や支えてくれる人々から愛されるチームであることも目標に据え、ラグビー教室やスポーツイベントなどを通じて地域と交流する朝日大学ラグビーフットボール部は、「考動」を力にして全国に挑み続けている。



1つでも多くの勝利をめざし、選手たちは「考動」し、成長を続ける。

RUGBY FOOTBALL

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | ラグビーフットボール部 部員数／78名

指導体制

	監督 吉川 充 朝日大学経営学部経営学科講師／朝日大学大学院修了／ヤマハ発動機ラグビー部／1991年高校日本代表。2017年度ジャパンラグビーコーチングアワード フロンティア賞受賞		ヘッドコーチ 土佐 忠磨 朝日大学学生・スポーツ支援課職員／明治大学卒業／NECラグビー部／U19高校日本代表・明治大学での指導実績を持つ		コーチ 南條 賢太 (株)area-H代表／現役時代は神戸製鋼などで活躍
	アドバイザー 大畑 大介 元ラグビー日本代表／コベルコ神戸スティーラーズアンバサダー		コーチ 湯浅 充樹 トヨタ自動車(株)		コーチ 太西 将太郎 元ラグビー日本代表／ヤマハ発動機などで活躍

部長 高橋 幸平 朝日大学保健医療学部教授 副部長 三井 博晶／藤井 敏郎 リクルーター 川田 浩二 朝日大学客員教授

戦績

2025年度
● 東海学生セブンズ 優勝
● 東海学生ラグビーリーグ 優勝(3年ぶり14回目)

部員の主な出身高校

金光蔭蔭6名／栄徳5名／札幌山の手4名／新田4名／鹿児島工業3名／遠軽2名／青森北2名／松嶺学園福島2名／湘南工科大附属2名／岐阜聖徳学園2名／石見智翠館2名／崇徳2名／戸別1名／仙台育英1名／正智深谷1名／熊谷1名／東京学園浦安1名／日大明誠1名／新潟工業1名／鶴来1名／中部大学春日丘1名／可児工業1名／報徳学園1名／興国1名／箕面学園1名／和歌山熊野1名／高川学園1名／名護1名／NZ 3名／トンガ2名

卒業後の主な進路

警視庁／大阪府警察／青森県警察／沖縄県警察／岐阜県警察／岐阜市消防本部／岐阜県立特別支援学校／九州電力／中国電力／日野自動車／三菱重工／マツダ／サニックス／豊通物流／豊通ニューバック／豊田スチールセンター／豊田ケミカルエンジニアリング／前田道路／トヨタ自動車／丸和運輸機関／西濃運輸／濃飛倉庫運輸／サントリロジスティクス／いすゞ自動車／JR西日本／日本キャタピラー合同会社／昭和コンクリート／カナモト／JR北海道／ホクレン農業協同組合連合会／岡三証券／ノース／日本製鉄／扇港電機／伊藤園／ANA中部国際空港／トヨタL&F中部株式会社／株式会社高田工業所／リョウセイ商事／奈良トヨタ／ジャパンデンタル／ワキタ／順天堂大大学院／筑波大大学院 等

問い合わせ先

監督／吉川 充
TEL／058-329-1088(入試広報課)
E-mail／rugby@alice.asahi-u.ac.jp

年間活動内容

4月	個人スキル強化期間 東海学生7人制大会(東海セブンズ) 関西セブンズ
5月～7月	春季オープン戦 関東遠征 関西遠征 九州遠征 朝日大学ラグビー祭
8月	学内強化合宿 菅平合宿 ミニ国体
9月	東海学生ラグビーリーグ
10月	東海学生ラグビーリーグ
11月	大学選手権 東海・北陸・中国・四国代表決定戦
12月	全国大学ラグビーフットボール選手権大会
2月～3月	ウエイトトレーニングを中心とした スケールアッププログラム 関東強化合宿 等



PICK UP ATHLETE

畠山 寿人

Hatakeyama Hisato
保健医療学部健康スポーツ科学科 3年
出身／東北高校(宮城県)

朝日大学バレー部が長年大切にしてきた「基本を忠実に積み重ねる」という哲学は、体制が変わった今もチームの揺るぎない柱となっている。これまで築き上げられてきた伝統や勝負に対する厳しさを正しく継承し、現代の学生スポーツに即した形へと進化させていくことが、今のチームに課せられた使命である。この不変の土台があるからこそ、個々の能力は最大限に引き出される。東レアローズや海外チームで経験を積んだ梅野聡監督は、適材適所で各学生が活躍できるように、幅広く意見を取り入れながら指導している。

チームのモットーは「ハードワーク」「当たり前のことをする」という2つの誓い。練習では、チームリーダーを中心に学生が主体となつて何をすべきかを考え、必要なトレーニングを選択する。選手個々が責任を持って役割を果たすことが、チームとしての完成度アップにつながっている。指導者は幅広く意見を取り入れ、試行錯誤を重ねながらチームを導く存在だ。また、他大学との試合や遠征を行ってモチベーションを維持。試合結果から課題を抽出し、日々の練習で解決をめざしている。

現在の目標は、全日本インカレで勝利を重ねること。新たな戦力となる新入生には、これまでに培ってきた自身の強みを恐れずに発揮するとともに、朝日大学バレーボール部の文化をつないでほしいと期待する。ハードワークを貫きながら、チームは次のステージを見据えて前進を続けている。



基本を忠実に積み重ね、強さへと変える。ハードワークを貫き、勝利を手にする。

VOLLEYBALL

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | バレーボール部 部員数／38名

指導体制



監督 梅野 聡
朝日大学保健医療学部助教／日本体育大学・大学院卒業／東レ株式会社
(東レアローズ選手・コーチ)／Hylite／Halmstad Volley (選手)

部長 曾我部 雄樹 朝日大学経営学部教授 副部長 塚中 敦子 朝日大学保健医療学部講師

戦績

- 2025年度
- 東海大学男女バレーボールリーグ戦
- 西日本バレーボール大学選手権大会
- 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会
東海ブロックラウンド

部員の主な出身高校

旭川実業／北海道科学大学／北海道大谷室蘭／東北／富山第一／小松大谷／金沢桜丘／啓新／鯖江／新発田南／東京学館新潟／松本国際／日本航空／愛工大名電／豊橋中央／清水桜が丘／岐阜聖徳学園／大商大／北陽／広島工業大学／神戸弘陵学園／山崎(兵庫県)／祐誠／直方／大分南／開新／鹿児島商業／樟南第二

卒業後の主な進路

トヨタ自動車／トヨタ車体／ジェイテクト／イビデン／三菱電機ビルソリューションズ／住友電気工業／富士通／大同特殊鋼／JAさふ／トヨタモビリティ東京／埼玉アザレア／岐阜ダイハツ販売／ホンダカーズ岐阜／北海道教員／北海道警察／柳川高校教員／自衛官／佐賀県警察／岐阜県警察／愛知県警察／北海道庁／西濃運輸／総合警備保障／ANA中部空港／覇港電機／上球磨消防組合消防本部／岡崎市消防本部／濱田重工

問い合わせ先

監督／梅野 聡
TEL／058-329-1388(研究室)
E-mail／u_s0508@alice.asahi-u.ac.jp

年間活動内容

4月～6月	東海大学春季バレーボールリーグ戦 春季岐阜県リーグ 西日本インカレ
7月～9月	強化練習
9月～10月	東海大学秋季バレーボールリーグ戦
11月	秋季岐阜県リーグ
12月	全日本インカレ
2月～3月	強化練習
3月	遠征



PICK UP ATHLETE

生駒 智之

Ikoma Tomoyuki
保健医療学部健康スポーツ科学科 4年
出身／大垣日本大学高校(岐阜県)

稽古の中で感じたことを互いに伝え合い、自らの力で課題を乗り越えていく。朝日大学相撲部に受け継がれているのは、学生同士が気づきを共有しながら成長していく土壌だ。指導にあたるのは、日本体育大学OBの高橋重人総監督、本学OBの岸本大輔監督、そして同じく本学OBで大相撲最高位、十両6枚目で13年間欠場せず土俵を務めた白塚元久コーチ(元徳真鵬の3人。角界とのつながりも強く、親方衆や現役力士が訪れ、間近で助言や指導を受けることができる。

稽古は基礎と実戦形式を軸に構成され、その後は各自が目的を持ってトレーニングに励む。特徴的なのが「部屋子制度」だ。学年を越えた少人数の縦割り班を編成し、競技面だけでなく私生活や大学生活にも目を配ることで、変化や悩みに早く気づける体制を整えている。また、稽古の様子を即座に確認できる映像システムを導入し、自身の動きを可視化することで効率的な改善につなげている。「礼に始まり、礼に終わる」という相撲の精神を重んじながら、風通しの良い環境を整え、主体性を育みながら力を磨いている。

こうした取り組みは結果にも表れ、男子は西日本学生相撲選手権大会の団体戦で2連覇を達成。全国大会でも安定して上位に進出する快進撃だ。女子も全国大会で入賞を重ね、世界大会での活躍も視野に入れている。これまでに4人の卒業生を角界に送り出している朝日大学がめざすのは、さらなる高みだ。



ともに高め合い、成長を重ねる。その成果が、西日本学生連覇だ。

SUMO

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | 相撲部 部員数／36名



指導体制



総監督 高橋 重人
朝日大学職員／三星運輸(株)代表取締役／日本体育大学卒業／元日本体育大学助手(相撲部コーチ)



監督 岸本 大輔
朝日大学施設管理課主査／朝日大学卒業



コーチ 白塚 元久
朝日大学学生・スポーツ支援課主任／朝日大学卒業／元十両 徳真鵬

部長 築瀬 歩 朝日大学保健医療学部教授 副部長 土田 洋 朝日大学保健医療学部講師

戦績

2025年度 男子
● 第64回全国大学選抜相撲宇佐大会 団体ベスト8
● 第99回西日本学生相撲選手権大会 団体優勝 ※2連覇
● 第85回西日本選抜学生相撲大会 団体準優勝
● 第15回全日本大学選抜相撲金沢大会 団体ベスト8
● 第50回西日本学生相撲個人体重別選手権大会 個人優勝(2階級)
● 万博 SUMO EXPO 2025 団体第3位
● 第65回岐阜県相撲選手権大会 個人優勝

2025年度 女子
● 第12回全国学生女子相撲選手権大会 個人第3位

部員の主な出身高校

岐阜農林／大垣日大／郡上北／明野／宇治山田商業／飛龍／焼津水産／静岡商業／小山／新名学園旭丘／海洋／長浜農業／八日市南／鳥羽／大阪わかば／県立和歌山商業／市川／鳥取城北／多久／長崎日大／樟南／屋久島おぞら

卒業後の主な進路

岐阜県警察／陸上自衛隊／海上自衛隊／法務省／福井県職員／東近江市職員／特別支援学校教員／秋田屋／ALSOK／エコーパートナーズ／ぎゅーとら／共同エン지니어リング／JA伊勢／JA岐阜／社会福祉法人あいむ／社会福祉法人白風会／spread／東京北魚／ドックス／トヨタカラー愛知／トヨタカラー岐阜／日本相撲協会／日本製鉄／濃尾電機／橋本総業／間口グループ／松源／マルエイ／旅館浜辺屋／岐阜大学大学院

問い合わせ先

部長／築瀬 歩
TEL／058-329-1854
E-mail／ayanase@alice.asahi-u.ac.jp
総監督／高橋 重人
E-mail／shigeto@k4.dion.ne.jp

年間活動内容

	【男子】	【女子】
4月	全日本大学選抜相撲宇和島大会 全国大学選抜相撲宇佐大会 全国選抜大学・社会人対抗相撲九州大会 西日本学生相撲新人選手権大会 全国選抜大学・実業団対抗相撲和歌山大会	国際女子相撲選抜堺大会
5月		
6月	西日本学生相撲選手権大会	全国女子相撲選抜ひめじ大会
7月	西日本選抜学生相撲大会 全日本大学選抜相撲金沢大会 西日本学生相撲個人体重別選手権大会	全日本女子相撲岐阜大会
8月	全日本大学選抜相撲十和田大会 全国学生相撲個人体重別選手権大会 全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会 岐阜県相撲選手権大会	全国学生女子相撲選手権大会
9月		
10月	国民スポーツ大会相撲競技	全日本女子相撲選手権大会
11月	全国学生相撲選手権大会 西日本学生相撲競技会	
12月	天皇杯 全日本相撲選手権大会	



PICK UP ATHLETE

梅村 友樹

Umemura Yuuki
法学部法学科 4年
出身／明徳義塾高校(高知県)

朝日大学卓球部の選手が戦う相手は、大学生だけではない。実業団チームで構成される日本卓球リーグに参戦し、社会人トッププレーヤーとものぎを削っているのだ。指導するのは、日本卓球リーグでの優勝経験があり、実業団チームの日立化成でもコーチを務めた米塚暁コーチ。競技における戦術面・メンタル面においても社会人トップレベルの指導を受けることができる。その中でも大切に行っているのは、「文武両道」の姿勢だ。卓球を通じて競技力を高めると同時に、学業との両立を図りながら、人として成長していくことをめざしている。

専用卓球場は空調設備やLED照明が整い、トレーニングジムも併設。年間を通じて集中して練習に打ち込める環境が整備されている。また、海外リーグやTリーグに参戦する選手も在籍し、日常的に高いレベルを体感できることが、卓球部全体の意識向上につながっている。マレーシアナショナルチームとの交流や2年連続で行う中国遠征、アメリカでの大会参加など、海外での活動にも積極的に取り組み、技術面だけでなく国際的な視野も養う。

全日本大学総合卓球選手権大会や国際総合競技大会のFISUワールドユニバーシティゲームズでは個人、団体とも金メダルを獲得するなど、国内外で存在感を示してきた。現在の目標は、全日本インカレ制覇と日本卓球リーグ1部昇格だ。選手たちは卓球と真摯に向き合いながら、文武両道を体現する存在として成長している。



文武両道を軸に、世界へ。恵まれた練習環境が挑戦を支える。

TABLE TENNIS

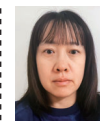
ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | 卓球部 部員数／34名



指導体制



監督 米塚 雅弘
朝日大学学生・スポーツ支援課主任／朝日大学卒業／2012年開催のぎふ清流国体において、卓球成年男子監督を務め3位の成績を収める



コーチ 米塚 暁
朝日大学職員／元日立化成(現レゾナック)卓球部主将・コーチ

部長 菅嶋 康浩 朝日大学保健医療学部教授 副部長 瀧谷 佳晃 朝日大学歯学部准教授

戦績

2025年度
● 全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)
男子ダブルス 第3位(岡野俊介、梅村友樹ペア)
男子シングルス ベスト8(岡野俊介)
● 全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)
男子団体 第3位
● FISUワールドユニバーシティゲームズ
混合ダブルス 金メダル(岡野俊介)
男子ダブルス 銀メダル(岡野俊介)
男子団体 銅メダル(岡野俊介)
女子団体 金メダル(浅田真奈)

部員の主な出身高校

愛知みずほ大学瑞穂／岩国商業／明徳義塾／れいめい／遊学館／浜松商業／駒澤大学附属吉小牧／日本航空(山梨)／富田(岐阜)／愛工大名電／関西／松徳学院(島根)／出雲北稜／希望が丘／青藍泰斗／鎮西学院／日南学園／都城商業／青森山田／新潟産業大学附属／八戸工業／清陵／埼玉栄／尽誠学園／名経大高蔵／弘前実業／千葉経済大付属

卒業後の主な進路

十六フィナンシャルグループ／レゾナック／日鉄物流和歌山／サンリツ／ケアリッツ・アンド・パートナーズ／エクセディ／信号器材／瀬戸内スチール／JR北海道／第一生命／大阪府警察／百十四銀行／綜合警備保障／VICTAS／広島日野自動車／ANA／トップ名古屋

問い合わせ先

監督／米塚 雅弘
TEL／058-329-1082
E-mail／yonetuka@alice.asahi-u.ac.jp

年間活動内容

4月 百万石オープン卓球大会
5月 東海学生卓球春季リーグ戦 東海学生卓球選手権大会
6月 東海学生卓球新人大会 前期日本卓球リーグ
7月 中部日本卓球選手権大会 東海関西学生対抗大会
8月 全日本大学対抗卓球選手権大会(インカレ)
全日本学生卓球選手権大会東海地区予選
日本・韓国大学生卓球交流戦
9月 東海学生卓球秋季リーグ戦 国民スポーツ大会
10月 全日本学生卓球選手権大会
全日本卓球選手権大会県予選
全日本学生選抜卓球選手権大会
後期日本卓球リーグ
12月 岐阜県卓球選手権大会
1月 全日本卓球選手権大会
2月 大阪国際招待卓球選手権大会(全国オープン)
3月 東京卓球選手権大会



PICK UP ATHLETE

弓長 昇主

Yuminaga Takayuki

保健医療学部健康スポーツ科学科 2年
出身／愛知工業大学名電高校(愛知県)

世界を舞台に戦う経験を日常の中で積み重ねていく場として、朝日大学フェンシング部には全国から多くの剣士が集う。その理由は、輝かしい実績が物語る。2012年ロンドン五輪に1人、2020東京五輪では2人の選手が出場。東京五輪出場の1人は現役学生であった。また、関わるオリンピックは卒業生だけではない。選手たちを牽引するのは、五輪2大会出場の市ヶ谷廣輝監督。そして、新井祐子総監督も五輪2大会出場という輝かしい経歴を持つている。

日々の練習は、高い基準を体感できる環境の中で行われている。トップ選手が集う場で切磋琢磨しながら競技に打ち込めば、自ずとレベルも引き上げられていく。入学後に頭角を現す選手も多い。部内はもちろん、トップ選手が集うナショナルトレーニングセンターでの練習参加にも積極的だ。監督とコーチ陣は学生が主体的に成長することを重視し、選手一人ひとりに合う指導を模索する。選手それぞれの進路も見据え、トップアスリートコースやマネージャーコースなどを用意し、将来につながるように導いている。大切なのは、失敗を恐れないこと。そして、感謝を忘れない心だ。

この場所で腕を磨いた選手は、全日本学生選手権大会をはじめとする国内主要大会で毎年上位に名を連ね、国際大会でも活躍し続けている。日本一をめざす。そして全員が日本代表をめざす。この名門フェンシング部で練習を重ねれば、その言葉が大きなものではないことが分かるだろう。



世界基準の環境で、自らを高める。その先に、五輪への入口がある。

FENCING

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | フェンシング部 部員数／72名

指導体制



副部長兼総監督 新井 祐子

朝日大学保健医療学部准教授
／日本女子体育大学卒業／アトランタ・シドニーと2大会連続で五輪に出場。元日本代表コーチ



監督 市ヶ谷 廣輝

朝日大学保健医療学部講師／日本体育大学大学院修了／バルセロナ・アトランタと2大会連続で五輪に出場。元日本代表コーチ



コーチ 伊藤 祐樹

羽島市役所／朝日大学卒業／男子エベ種目で2010年全日本個人優勝、日本代表として複数の世界大会に出場

フルールコーチ 福田 正徳

(株)フクダ

トレーナー 柔道整復師 川瀬 徹

整骨院 桜花

部長 椎名 智彦 朝日大学法学部教授

戦績

2025年度

- 関西学生リーグ戦 男子総合優勝／女子総合準優勝
- 春季リーグ戦 男子エベ一部リーグ優勝
女子エベ一部リーグ優勝
男子サーブル一部リーグ準優勝
女子サーブル一部リーグ4位
女子フルール一部リーグ優勝
男子フルール一部リーグ3位
新人大会男子サーブル個人優勝 船木陽斗
新人大会女子フルール個人優勝 緒方みさき
新人大会男子エベ個人準優勝 櫻井麻樹
新人大会男子サーブル個人3位 石井陽登
新人大会女子フルール個人3位 五味恋菜
- 第75回全日本学生フェンシング王座決定戦
男子エベ 3位
男子サーブル 4位
女子フルール 3位
女子エベ 4位

- 関西学生フェンシング選手権大会
男子フルール 3位
男子エベ 1位
男子サーブル 2位
女子フルール 3位
女子エベ 2位
女子サーブル 1位
- 全日本学生フェンシング選手権大会
男子エベ 5位
男子サーブル 5位
女子サーブル 5位
女子エベ 6位
- 日本代表選手国際大会出場選手(男子2名)
- 全日本フェンシング選手権大会
女子エベ 5位
女子サーブル 6位
男子エベ 7位

部員の主な出身高校

箕輪進修1名／熊本開新2名／熊本翔陽3名／玄界1名／福岡魁誠2名／東京学館新潟2名／秋田北鷹2名／諫早商業7名／佐賀商業2名／鹿児島南2名／星槎国際2名／栃木南2名／水戸葵陵1名／宮崎南4名／三島3名／玉川3名／北陸2名／大垣養老2名／岐阜各務野2名／安来1名／玉野光南1名／鳥羽2名／柳井学園1名／上伊那農業1名／高島1名／富山北部1名／青森黒石1名／国学院1名／石川松任1名／高松北1名

卒業後の主な進路

北海道開発局／野村證券／第一生命／警視庁／滋賀県警察／岐阜県警察／日本郵政／ノリツ／住友林業／熊本朝日放送／大垣共立銀行／香川銀行／濃飛倉庫運輸／東浦町役場／諫早市役所／今別町役場／橋本総業／扇港電機／京都府立鴨沂高校／滋賀県立玉川高校／岐阜県立飛騨特別支援学校／聖霊学園高校(旧：聖霊女子短期大学付属高校)／佐賀県庁

年間活動内容

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 4月～5月 | 関西学生リーグ戦 |
| 6月 | 全日本学生王座決定戦 |
| 8月 | 夏季休暇 |
| 9月 | 全日本選手権大会(個人)
夏季強化練習 夏季強化合宿 |
| 10月 | 関西学生選手権大会(カンカレ)
全日本学生選手権大会(インカレ) |
| 11月 | 全日本選手権大会(団体) |
| 12月 | 全日本選手権大会(個人) |
| 1月 | JOC・ジュニアオリンピックカップ |
| 3月 | 春季強化練習 春季強化合宿 |

問い合わせ先

監督／市ヶ谷 廣輝
TEL／058-329-1345(研究室)
E-mail／ichigatani@alice.asahi-u.ac.jp



剣道を通して社会性と創造性を育み、知性に富む人間になること。名門朝日大学剣道部の考えは、一貫して変わらない。指導においても「剣道即生活生活即修行」を掲げ、剣道修行そのものが普段の生活であり、正しく生活して生きていくこと自体が修行そのものとする。一本に向き合う姿勢は、日常のすべてにつながるのだ。部旗に書かれた言葉は「峻潔」。険しい道のりでも、つねに夢を抱き、心広く清らかで大きな人間になるという意味が込められている。

稽古では、基本を何よりも重視する。構えや足さばき、打突の精度など、剣道の土台となる部分を繰り返し磨き上げることで、試合でも揺るがない力を身に付けていく。また、小手先の技ではなく、大技にこだわることも特徴。切り返しや打ち込みに加え、3人の元立ちに連続で打ちかかる三段稽古に励むのは、次のステージにつなぐ力を磨くためだ。

剣を振るう環境づくりにも注力している。剣道場は空調設備を完備。優れた弾力性を持つ床など、存分に力を発揮できる条件が整っている。

日々の修練が実を結び、東海学生剣道選手権大会では優勝をつかみ取った。全国各地から若き剣士たちが集い、この場所での力を付けていく。求めるのは、大学生活の中で学業と競技の文武両道を志し、社会に貢献できる人間性を身に付けること。確かな実力を備えた剣士たちは、卒業後も実業団や警察、公務官などの各大会でも活躍を見せている。



剣の道を通じて、人を磨く。積み重ねた稽古が、確かな力になる。

KENDO

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | 剣道部 部員数 / 56 名

指導体制

	師範 林 俊彦 朝日大学客員教授 / 新潟大学卒業 / 教士七段		総監督 森 啓示 朝日大学法学部法学科講師 / 鹿屋体育大学卒業 / 朝日大学大学院法学研究科修了 修士(法学) / 教士七段。2001年全日本剣道選手権大会岐阜県代表		監督 高磯 諒大 朝日大学保健医療学部助教 / 鹿屋体育大学大学院修了 修士(体育学) / 剣道五段
---	-------------------------------------	---	---	---	---

部長 高梨 文彦 朝日大学法学部教授 副部長 高橋 篤史 朝日大学保健医療学部講師

戦績

- 2025年度
- 第70回 西日本学生剣道大会 3位
 - 第72回 東海学生剣道優勝大会 3位
 - 第73回 全日本学生剣道優勝大会出場
 - 第44回 全日本女子学生剣道優勝大会出場
 - 第72回 東海学生剣道選手権大会 優勝(三浦旺大)
 - 第73回 全日本学生剣道選手権大会 ベスト16(三浦旺大)

部員の主な出身高校

磐田西 / 郡上 / 中京 / 東洋大姫路 / 明德義塾 / 大社 / 大分 / 東海大星翔 / 都城東 / 福岡常葉 / 小樽双葉 / 松商学園 / 福工大附属福井 / 福岡 / 四天王寺東 / 高知学園 / 西海学園 / 甲子園学院 / 和歌山工業 / 秀岳館 / 明豊 / 桜丘 / 鎮西 / 南筑 / 柳ヶ浦 / 熊本西 / 白石 / 拓大紅陵

卒業後の主な進路

自衛官 / 公務官 / 消防官 / 警視庁 / 熊本県警察 / 長崎県警察 / 兵庫県警察 / 岐阜県警察 / 福岡県警察 / 大阪府警察 / 山梨県警察 / 佐賀県警察 / 長野県警察 / 西日本シティ銀行 / 佐賀銀行 / 岡三証券 / JR西日本 / 九電工 / 富士フイルムビジネスソリューション / 再春館製菓所 / 福岡トヨペット / ランテック / 法務教官 / 皇宮警察 / 愛知県警察 / 石川県警察 / 山口県警察 / 富山県警察 / 福岡トヨタ自動車 / 日本生命 / 第一生命 / パローホールディングス(HD) / 東洋水産 / ANA中部空港 / ANA福岡空港 / ANA那覇 / 大和工業

問い合わせ先

部長 / 高梨 文彦
総監督 / 森 啓示
TEL / 058-329-1085 (学生・スポーツ支援課)
E-mail / morikeiji@alice.asahi-u.ac.jp

年間活動内容

- | | |
|-----|--|
| 5月 | 東海学生・女子学生剣道選手権大会
西日本学生・女子学生剣道大会 |
| 6月 | 東海学生・女子学生剣道新人選手権大会 |
| 7月 | 全日本学生剣道選手権大会
全日本学生剣道東西対抗試合
全日本女子学生剣道選手権大会
全日本女子学生剣道東西対抗試合 |
| 8月 | 夏季強化合宿 |
| 9月 | 東海学生・女子学生剣道優勝大会 |
| 10月 | 全日本学生剣道優勝大会 |
| 11月 | 全日本学生・女子学生剣道優勝大会
東海学生・女子学生剣道新人優勝大会 |
| 3月 | 東海私立大学剣道選手権大会 春季強化合宿 |



PICK UP ATHLETE

小谷 翔

Kodani Sho
保健医療学部健康スポーツ科学科 4年
出身／山陽高校(広島県)

元男子日本代表監督の長屋恭一監督が中心となり指導する朝日大学ホッケー部は、「Speedy and simple」というチームスローガンを掲げ、考えるホッケー」をモットーとする。目まぐるしく変化する状況下で、次に何をするのかを意識させ、素早くシンプルにプレーするために自分が何をすべきなのかを考えさせるのだ。戦術に関しては、藤井辰憲男子ヘッドコーチ兼女子監督の存在も大きい。日本代表選手を擁すGIFU ASAHI BLUE DEVILSの監督として磨き続ける最先端の戦術を学生へも落とし込む。

こうした選択のスピードは、練習の中で培われる。次に起こり得る展開を想像し、可能性をチーム全員で考える。そのため、選手間で話し合う機会は多く、どんな場面でも勝つための行動や意識を共有し続けている。

また「GIFU ASAHI BLUE DEVILS」と一緒にトレーニングを行い、より高いモチベーションを維持している。2025年には、女子部員がホッケージャパンリーグさくらリーグに「GIFU ASAHI BLUE BEES」の補強選手として出場。最高峰の舞台で戦い、トップレベルの選手の強さを肌で感じている。

ウォーターベース仕様のホッケー場が大学内に整備され、シャワールーム完備のクラブハウスも2024年に完成した。国内有数の練習環境で成長する部員が見据えるのは、男女ともに大学日本一。全員が考え続ける朝日大学ホッケー部は、次のステージを見据えて前進を続けている。



次を考え、動くホッケーを徹底。かなえるのは、大学日本一の奪還だ。

HOCKEY

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | ホッケー部 部員数／69名

指導体制



男子監督 **長屋 恭一**
朝日大学客員教授／天理大学卒業／メキシコ五輪に選手として出場／岐阜総合学園高校教員として全国優勝10回の実績を持つ／元男子日本代表監督



男子ヘッドコーチ兼女子監督 **藤井 辰憲**
朝日大学学生・スポーツ支援課係長／山梨学院大学卒業／日本代表時代には監督長屋恭一氏のもと、五輪をめざす／GIFU ASAHI BLUE DEVILS 監督／GIFU ASAHI BLUE BEES ヘッドコーチ

部長 **村松 泰徳** 朝日大学歯学部教授 副部長 **浅野 一男** 朝日大学病院事務部部长 副部長 **石本 昭彦** 朝日大学歯学部事務部部长

戦績

2025年度
●全日本学生ホッケー選手権大会 ベスト4(男子部)
●全日本学生ホッケー選手権大会 ベスト8(女子部)
●東海学生ホッケーリーグ(春・秋) 優勝
●関西学生ホッケーリーグ(秋) 3位
●高円宮杯2025男子ホッケー日本リーグ(H1)準優勝

部員の主な出身高校

岐阜総合学園8名／伊吹2名／岐阜各務野5名／伊万里実業1名／石動5名／川棚3名／横田5名／小国1名／可見工業1名／天理1名／八頭6名／山陽7名／沼宮内4名／丹生4名／須知2名／今市4名／修明1名／紀央館1名 等

卒業後の主な進路

トーカイ／JAざぶ／JA阿蘇／セイノー情報サービス／濃飛倉庫運輸／昭和コンクリート工業／エム・シー・ヘルスケア／ヨシダ／航空自衛隊／日本一ソフトウェア／朝日大病院／アビ／岐阜車体工業／美濃環境保全社 等

問い合わせ先

男子ヘッドコーチ兼女子監督／藤井 辰憲
TEL / 058-329-1164
E-mail / tatsunori@alice.asahi-u.ac.jp

年間活動内容

4月～6月	東海春季リーグ 関西春季リーグ
4月～12月	高円宮杯2025男子ホッケー日本リーグ(D1リーグ、さくらリーグ)
6月	全日本大学ホッケー王座決定戦
7月	東海学生選手権大会
9月～12月	東海秋季リーグ 関西秋季リーグ 国民スポーツ大会
11月	全日本学生ホッケー選手権大会
12月	全日本男子ホッケー選手権大会



PICK UP ATHLETE

吉田 響

Yoshida Hibiki

保健医療学部健康スポーツ科学科 3年
出身／海星高校(長崎県)

勇敢に突き進んでいくことを意味する「勇往邁進」が、朝日大学硬式庭球部のスローガン。目標に向かって、この姿勢を浸透させるために、指揮官たちは選手主体で部を運営するという指針を与える。選手自らが自発的に行動することが、前へと進む原動力になると知っているからだ。練習の内容やペアリングについても、キャプテンを中心とした上級生が立案し、ミーティングで決定する。大会後もチーム全員が集まり、成長できたところや課題を洗い出して次へと生かす。少数精鋭だからこそ実現できる学年を越えたコミュニケーションが、選手たちの力になっている。

練習は短時間集中型。基礎体力づくりに始まり、試合感覚を養うために実戦形式のポイントプレーを積極的に取り入れる。自らのレベルアップを確実に遂行していくのが、硬式庭球部の成長メソッドだ。加えて、個別のプログラムを採用し、体力や筋力アップのためのトレーニングや長距離のランニングなどを実践している。施設面では、人工芝オムニコートとハードコートをそれぞれ3面ずつ用意し、新設のクラブルームも完備。安全かつ安心してプレーできる場が整っている。

現在の目標は、男女ともに東海学生リーグの1部復帰。加えて、これまでに以上に選手が主体的に考えて練習に取り組み、技術と体力をつけることも挙げる。ハードとソフトの両面が揃う環境で、選手たちは目標達成に向けて走り続けている。



自ら決め、自ら行動する練習をもとに、東海学生リーグ1部復帰へ挑む。

TENNIS

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | 硬式庭球部 部員数／12名

指導体制



副部長兼監督 大森 俊和
朝日大学PDI岐阜歯科診療所所長／朝日大学歯学部卒業／朝日大学硬式庭球部OB
／岐阜県テニス協会常務理事

コーチ 長 かおり
STULA NIKOLA (ストゥーラ ニコラ)
杉 健次

部長 加藤 尊 朝日大学保健医療学部教授／中京大学大学院体育学研究科博士後期課程修了、博士(体育学)

戦績

- 2024年度
- 春季大会 本戦出場(MS3名、WS4名、WD2ペア)
 - 夏季大会 本戦出場(MS1名、WS3名、WD1ペア)
 - リーグ戦 男子2部5位(1勝4敗)3部降格
女子2部3位(3勝2敗)2部残留
 - チャレンジ 本戦出場(WD1ペア)
 - 室内大会 本戦出場(WS3名、WD2ペア)
 - 新進 本戦出場(WS1名)／WDベスト8
- 2025年度
- 春季大会 本戦出場(MS1名、WS3名、WD1ペア)
 - 夏季大会 本戦出場(WS1名、WD1ペア)
 - リーグ戦 男子3部4位(2勝3敗)3部残留
女子2部4位(3勝2敗)2部残留

部員の主な出身高校

各務原／関商工／愛知啓成／聖霊／桜丘／富山北部／啓新／長崎海星／普天間

卒業後の主な進路

公立中学校講師(保健体育)／消防本部／岐阜県健康管理センター／ホンダカーズ岐阜／ニチイ学館／JAぎふ／JAおきなわ／サントリービバレッジ等

問い合わせ先

副部長兼監督／大森 俊和
E-mail／toshi@dent.asahi-u.ac.jp

年間活動内容

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| 4月～5月 | 東海学生春季デニストーナメント(予選／本戦)
岐阜県学生テニス選手権 |
| 6月～7月 | 東海学生夏季デニストーナメント(予選／本戦) |
| 8月 | 全日本学生テニス選手権 |
| 8月～9月 | 東海学生対抗リーグ戦 |
| 10月～11月 | 東海学生チャレンジデニストーナメント(予選／本戦) |
| 12月 | 東海学生選抜室内テニス選手権(予選／本戦) |
| 2月～3月 | 東海学生新進テニス選手権(予選／本戦) |



PICK UP ATHLETE

渡邊 蓮

Watanabe Ren
法学部法学科 4年
出身／岐阜工業高校(岐阜県)

全日本代表監督も務めた山崎好弘総監督が統括する朝日大学自転車競技部が、チームづくりにおいて最も意識する要素がチームワークだ。練習はもちろん、合宿所での共同生活は一人ひとりの自主性とチーム内の結束力を育んでいる。こうした日常の積み重ねが、チームパシビリティやチームスプリントといった団体種目における安定した戦いにつながってきた。個の力を生かしながら、仲間と力を合わせて結果をめざす姿勢が自転車競技部の特徴となっている。

創部以来初となる全日本学生選手権トラック自転車競技大会(ケイリン)優勝をはじめ、西日本インカレ総合17連覇や国民スポーツ大会などにおいて好成績を収めているのは、そうした成果の一例。さらに、山崎総監督はプロ、さらには世界を舞台に戦うために、課題設定と解決能力を徹底的に磨き上げていく。34人もの競輪選手を輩出し、その中には2024年のパリ五輪でスプリント6位、チームスプリント5位という好成績を残した小原佑太選手もいる。

練習は早朝練習を中心に行われ、木曽三川サイクリングロードや岐阜県内の街道、山岳地帯道路を活用したロードトレーニングを実施。トラック練習では、岐阜競輪場で岐南工業高校との合同練習を行うなど、実戦を意識した取り組みを継続している。選手たちは日々自転車と向き合い、メダルを漕ぐ。その先に見えるのは、全国大会でさらに勝利を重ねる景色だ。



確かな指導と結束力を礎に、大学ナンバーワンへの道をひた走る。

CYCLING

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | 自転車競技部 部員数／ 35 名



指導体制



総監督 山崎 好弘
朝日大学教職課程センター客員教授／元日本代表監督／元岐阜工業高校自転車競技部監督／岐阜工業高校自転車競技部チームアドバイザー



監督 高橋 翔太
朝日大学学生・スポーツ支援課／元日本代表

コーチ 加藤 渉
朝日大学就職支援課(AGO)／元競輪選手

戦績

2024年度
●全日本学生選手権トラックレース ケイリン 3位、ポイントレース 3位
●全日本大学対抗選手権自転車競技大会 トラック総合 8位
●西日本大学対抗選手権自転車競技大会 総合16連覇
●国民スポーツ大会「佐賀国スポ」 チームスプリント 優勝 他
2025年度
●全日本学生選手権トラックレース ケイリン 優勝、マディソン 5位
●全日本学生選手権ロードレース 4位
●国民スポーツ大会 4kmチームパシユート 2位、ケイリン 8位
●全国都道府県対抗自転車競技大会 スクラッチ 優勝

部員の主な出身高校

岐阜工業5名／出雲工業2名／浦和北2名／延岡学園2名／祐誠2名／新潟吉田2名／広島山陽学園2名／水島工業2名／科学技術1名／倉吉西1名／北中城1名／高知工業1名／別府翔南1名／杉戸農業1名／倉吉総産1名／和歌山北1名／朝明1名／都城工業1名／宮崎第一1名／青森山田1名／内灘1名／興陽1名／八戸工業1名／浜松開誠館1名／古川工業1名

卒業後の主な進路

競輪選手／岐阜県ほかの県立・私立高等学校／岐阜県ほかの警察官／各県市町村の体育協会／海上・陸上自衛隊／JR西日本／JR九州／株式会社JPF／他一般企業等

問い合わせ先

総監督／山崎 好弘
TEL／090-3588-6625
監督／高橋 翔太
TEL／090-8546-1770
E-mail／sho1990@alice.asahi-u.ac.jp
コーチ／加藤 渉
TEL／090-1414-7137

年間活動内容

4月	シーズン開幕(トラック・ロード)
5月	JICF 国際トラックカップ(トラック・ロード) 西日本学生選手権(トラック)
6月	全日本学生選手権個人ロードレース大会
7月	全日本学生選手権(トラック)
	西日本大学対抗選手権自転車競技大会(トラック)
8月	強化合宿(トラック・ロード) 全日本選手権(トラック・オムニアム)
9月	全日本大学対抗選手権自転車競技大会
10月	国民スポーツ大会 西日本学生新人戦 全日本学生選手権チームロード大会
11月～2月	全日本学生ロードレースカップシリーズ 強化練習
3月	強化練習



PICK UP ATHLETE

仙道 塁

Sendou Rui
保健医療学部健康スポーツ科学科 4年
出身／湯沢高校(秋田県)

ハンドボール激戦区と呼ばれる東海地区において、学生リーグ1部に定着して戦い続けるのが朝日大学ハンドボール部だ。「Everything is practice」をスローガンとしてチームを率いる伊東裕希監督は、すべては練習の中にあると説き、基本に忠実な練習を行いながら一つひとつの練習のクオリティーにこだわる。そして、選手の自主性を誘発し、考え続けることを定着させる。当たり前のことを当たり前にできる選手へと育て上げていくためだ。また、選手とのコミュニケーションを欠かさないのも伊東監督ならではの。日々の会話だけでなく、定期的な個人面談を実施し、一人ひとりの健康管理やメンタル管理を行っている。

練習ではハンドリングやフットワークといった基礎練習に加え、ウエイトトレーニングにも力を入れている。身体の部位ごとに分けながら週4日行っているトレーニングは、力強いシュートやキレのあるパス回しにつながっている。学内に照明付き専用コート有しているため、集中して練習に向き合う環境は十分だ。

地域に向けた活動として行う、ぎふ瑞穂スポーツガーデンでの小学生向けハンドボール教室の成果も大きい。子どもたちに教える中で、選手としても、人としても成長を重ねている。青のユニフォームに身を包む「ブルーハンター」たちは、常に明確な理想像を見据える。めざすのは、リーグ戦の上位定着と全日本インカレでのベスト8だ。



激戦区で磨いた力をもとに、全日本インカレベスト8へ挑戦を続ける。

HANDBALL

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | ハンドボール部 部員数／36名

指導体制



監督 伊東 裕希
朝日大学保健医療学部講師／筑波大学大学院修了／
2017年～2020年 岐阜聖徳学園大学監督

部長 角田 和代 朝日大学保健医療学部准教授 副部長 柳瀬 政美 朝日大学学事一課課長

戦績

- 2024年度
- 東海学生ハンドボール連盟春季リーグ戦 7位
 - 東海学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦 8位
 - 西日本インカレ出場
- 2025年度
- 東海学生ハンドボール連盟春季リーグ戦 5位
 - 東海学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦 6位
 - 西日本インカレ出場

部員の主な出身高校

高岡向陵／市立岐阜商業／高山西／中部大学春日丘／彦根翔西館／岐阜東／大分／彦根総合／大同大学大同／桑名工業／愛知／富田／桃山学院／氷見／大阪信実学園／湯沢／須恵／大分雄城台／二松学園大学附属柏／小松工業／至学館 等

卒業後の主な進路

イビケン／パロー／飛騨産業／東海マツダ販売／こまつ自動車学校／碧／駿河学院／八光自動車工業／沖縄総合警備保障／ANA沖縄空港／オリエンタルヒルズ沖縄／沖縄協同青果／日本製鉄／バイク王&カンパニー／愛知日野自動車
実業団ハンドボールチーム：トヨタ紡織九州レッドトルネード SAGA／琉球コラソン／富山ドリームス

問い合わせ先

監督／伊東 裕希
E-mail／s-ito@alice.asahi-u.ac.jp

年間活動内容

4月～5月	東海学生ハンドボール連盟春季リーグ戦
6月	東海学生ハンドボール選手権大会
7月	遠征と合宿
8月	西日本学生ハンドボール選手権大会
9月～10月	東海学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦
11月	高松宮記念杯全日本学生ハンドボール選手権大会
12月	遠征と合宿
1月	岐阜県選抜ハンドボール選手権大会
2月	遠征と合宿



PICK UP ATHLETE

田宮 朱梨

Tamiya Akari
経営学部経営学科 4年
出身／県立岐阜商業高校(岐阜県)



朝日大学会計研究部では、部員が公認会計士をはじめとする会計の専門家をめざして日々学習に取り組んでいる。公認会計士試験は合格率約10%とされる難関だが、これまでに合計81名(大学院研究生等を含む)の合格者を輩出。その背景には、指導体制と学習環境の整備、そして学生自身の高い志と意識がある。

指導にあたるのは、監督ならびに公認会計士として活躍するコーチ陣。学生の理解度や進捗を丁寧に把握し、日々の質問対応や学習相談を通してきめ細かな指導を行っている。平日は朝答練、夕答練、自己学習、学習相談を中心とし、週末には模擬試験やオンライン講義も実施。会計研究室には100名を超える部員が、朝7時から夜19時まで集中できる環境が整っている。

こうしたハードな学習を続けながらも、会計研究部が大切にしているのは「試験合格は通過点」という考え方だ。「志の高い公認会計士をめざし、会計を使って社会貢献をする」というモットーのもと、実務で通用する力を付けることを重視する。毎月の目標管理や学習の振り返りを通じて、努力の過程を大切にする姿勢も育まれている。一流アスリート同様の厳しい道の上にはあるが、簿記会計において、努力は決して裏切らない。岐阜県高等学校商業校長会と連携協定を結び、高校と大学との7年間で公認会計士試験に挑戦し、合格可能な教育システムを構築していることも大きな特徴だ。



公認会計士試験合格は通過点。会計のスペシャリストとして、社会での貢献を見据える。

ACCOUNTING

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | 会計研究部 部員数／109名



指導体制



監督 小島 一富士
朝日大学客員教授／中央大学商学部卒業／公認会計士



助監督 小澤 洲皓
朝日大学経営学部特命講師／朝日大学大学院経営学研究科修士課程修了／日本公認会計士協会準会員

コーチ 吉田 和広 公認会計士
コーチ 関口 高弘 公認会計士
コーチ 森 直也 公認会計士
コーチ 松田 流輝 公認会計士

コーチ 馬場 雄大 公認会計士
コーチ 伴野 満希 公認会計士
コーチ 田中 英淳 日本商業教育振興会指導本部長

部長 森下 伊三男 朝日大学保健医療学部教授

副部長 正村 達裕 朝日大学経営学部教授／山内 志文 朝日大学経営学部教授／村山 義広 朝日大学教職課程センター教授(教職課程センター長)／青木 要介 朝日大学学事二課課長

戦績

2014～2022年度
● TAC簿記チャンピオン大会 簿記1級全国団体の部 優勝8回
2022年度
● 日本商工会議所主催 日商簿記全国大会「簿記-1グランプリ」優勝
2014～2025年度
● 公認会計士試験論文式試験 累計81名合格

各種試験の結果

▶公認会計士クラス
令和5年公認会計士試験論文式試験／7名合格
令和6年公認会計士試験論文式試験／6名合格
令和7年公認会計士試験論文式試験／11名合格

令和5年度第73回税理士試験科目試験 簿記論／17名合格
財務諸表論／16名合格
令和6年度第74回税理士試験科目試験 簿記論／10名合格
財務諸表論／8名合格
令和7年度第75回税理士試験科目試験 簿記論／11名合格
財務諸表論／22名合格

▶日商簿記1級クラス
令和5年度日商簿記検定1級／10名合格
令和6年度日商簿記検定1級／6名合格
令和7年度日商簿記検定1級／12名合格

部員の主な出身高校(順不同)

県立岐阜商業／大垣商業／岐阜各務野／市立岐阜商業／中津商業／岐阜城北／関商工／岐阜済美／東濃実業／岐阜聖徳学園／岐阜農林／可児／帝京大可児／可児工業／土岐商業／益田清風／啓晴／愛知淑徳／岡崎商業／豊橋商業／三沢商業／彦根総合／奈良商業／富山商業／広島商業／下関商業／佐賀商業／唐津商業／佐世保商業／那覇商業／具志川商業／宮古総合実業／南風原

卒業後の主な進路(順不同)

EY新日本有限責任監査法人／有限責任監査法人トーマツ／PwC Japan 有限責任監査法人／有限責任あずさ監査法人／太陽有限責任監査法人／東陽監査法人／仰星監査法人／三優監査法人／アーク有限責任監査法人／EY税理士法人／税理士法人慶城総合経営事務所／山田会計事務所／北斗中央税理士法人／税理士法人NEXT／税理士法人STR／F&Mパートナーズ税理士法人／NeXT朝日税理士法人／佐々木会計事務所／株式会社柴田会計／ビューロ・ネットワーク税理士法人／税理士法人アイオン／仲橋税理士事務所／税理士法人南経営／浅野雅大税理士事務所／税理士法人プロシード／税理士法人市川会計事務所／あすか税理士法人大通Testa／税理士事務所平川会計パートナーズ／税理士法人みらい／税理士法人TACT高井法博会計事務所／税理士法人ティグレパートナーズ／佐々木辰雄税理士事務所／Rikyūパートナーズ税理士法人／工藤智税理士事務所／瑞穂市役所／岐阜県高等学校教員(商業)／朝日大学職員／大学院法学研究科進学

年間活動内容

4月～5月 公認会計士短答式本試験
6月 日商簿記検定1級試験
7月 全経上級試験
8月 税理士試験 公認会計士論文式本試験 強化合宿
9月～10月 監査法人見学
TAC簿記チャンピオン大会
11月 日商簿記全国大会「簿記-1グランプリ」
日商簿記検定1級試験
12月 公認会計士短答式本試験
1月～3月 全経上級試験
新入部員入部ガイダンス

問い合わせ先

副部長／青木 要介
TEL／058-329-1076(学事二課)
E-mail／yaoki@alice.asahi-u.ac.jp

PICK UP ATHLETE

加藤 那奈

Kato Nana

経営学部経営学科 4年

出身／県立岐阜商業高校(岐阜県)

40人以上の部員を擁する朝日大学吹奏楽部を率いる和田隆明監督は、全国大会で多くの実績を残す岐阜県立岐阜商業高校吹奏楽部を26年にわたり指導してきた経験を持つ。高校生に徹底的に基礎を教えてきた和田監督は、「独自の解釈で曲をつくりあげる力」を大学生に求める。そのために、演奏技術の向上だけでなく主体性を重視。吹奏楽を通じて人間性を育むという考え方が根幹となる。

一人ひとりを育てる土台は、充実した練習環境にある。約100人が合奏できる習練場やパート練習室を完備するだけでなく、毎月の外部コーチによるレッスンやプロブレイヤーによる定期的な個人レッスンを実施。対面でのきめ細かな指導を行っている。

2019年創部と歴史は浅いが、2023年に東海吹奏楽コンクールへ出場して以来、3年連続で金賞を受賞。また、アメリカ・パサデナ市で100年以上続く新年恒例のローズパレードへの参加経験を持ち、国内に留まらない活動を展開してきた。

2026年度はアメリカでの演奏活動を行う計画で、2度目となるローズパレードをはじめ、カリフォルニアのテーマパークでのパレード、南カリフォルニア森林大火災復興支援チャリティコンサートなどに参加する。コンクールではない活動にも積極的に参加するのは、音楽による地域貢献が第一と考えているからだ。凡事徹底を旨として活動する吹奏楽部は日々成長し、新たな舞台への準備を進めている。



充実した練習環境を背景に、優れた演奏力で地域や世界とつながる。

WIND ORCHESTRA

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | 吹奏楽部 部員数 / 43名



指導体制



監督 和田 隆明

朝日大学教職課程センター講師／名古屋経済大学卒業／元県立岐阜商業高校吹奏楽部顧問／県立岐阜商業高校教諭として吹奏楽部を26年間指導。マーチングバンド全国大会金賞5回、第3位2回。ローズパレード2017、2020、2023出場。2017年度中日教育賞受賞



ヘッドコーチ 遠藤 宏幸

名古屋芸術大学准教授／東京コンセルヴァトアール尚美卒業／サクソフォン奏者／指揮者／吹奏楽指導者として多くのアマチュアバンドを指導。ウインドアンサンブルGAJA代表。アリオ・サクソフォン・カルテット。Unita Della Sax代表



コーチ 小栗 静華

クラリネット奏者／名古屋芸術大学音楽学部卒業、同大学研修生修了／第41回TIAA全日本クラシック音楽コンサート室内楽部門入選。第9回クラリネットアンサンブルコンクール一般部門第3位などの実績を持ち、数多くの中学・高校の吹奏楽部を指導

部長 金森 香織 朝日大学法学部准教授 副部長 宝田 直樹 朝日大学学生・スポーツ支援課課長／柊井 克哉

コーチ 渡邊 明奈 朝日大学入試広報課職員／内藤 千尋 朝日大学学事一課職員

戦績

- 2023年度
 - 第78回東海吹奏楽コンクール 金賞(初)
 - 第50回東海アンサンブルコンテスト 木管三重奏B 金賞、木管三重奏A 銀賞
 - 第12回シンフォニックジャズ&ポップスコンテスト全国大会 金賞(2回目)
- 2024年度
 - 第62回岐阜県吹奏楽コンクール 金賞(県代表、朝日新聞社賞)、きらめき賞(オーボエ：経営学部3年後藤利乃音)
 - 第79回東海吹奏楽コンクール 金賞(2年連続2回目)
 - 第51回東海アンサンブルコンテスト 木管三重奏 金賞、フルート三重奏 銀賞
 - 第13回シンフォニックジャズ&ポップスコンテスト全国大会 銀賞
- 2025年度
 - 第63回岐阜県吹奏楽コンクール 金賞(県代表、朝日新聞社賞)
 - 第80回東海吹奏楽コンクール 金賞(3年連続3回目)
 - 第58回岐阜県アンサンブルコンテスト 打楽器七重奏 金賞(県代表、最優秀賞)

部員の主な出身高校

県立岐阜商業／岐南工業／各務原／羽島／岐阜工業／大垣養老／大垣商業／郡上／東濃実業／中津商業／飛騨高山／関商工／各務原西／池田／岐阜総合学園／本巣松陽／岐阜聖徳学園／岐阜東／大垣日大／高山西／長野東／浜松聖星／精華／福工大付属城東／西原

卒業後の主な進路

岐阜県警察／岐阜県教職員／ANA中部空港(株)／大垣共立銀行／朝日大学／西濃運輸(株)／(株)マキユリ／橋本総業(株)／TBCグループ／コプロコンストラクション／ELJソーラーコーポレーション／リスバック

問い合わせ先

コーチ／渡邊 明奈
TEL / 058-329-1088 (入試広報課)
E-mail / akina_w@alice.asahi-u.sc.jp

年間活動内容

- | | |
|-----|---|
| 4月 | 4/12(日) ローズパレード出場記念演奏会part1 ～on your marks～ |
| 5月～ | 5/9(土)、10(日) ココロかさなるCCNセンター |
| 6月 | 高山公演、西濃公演、東濃公演、中濃公演 全5会場6公演を予定 |
| 8月 | 第64回岐阜県吹奏楽コンクール |
| 9月 | 第81回東海吹奏楽コンクール |
| 10月 | 10/18(日) ローズパレード出場記念演奏会part2 ～Get Set～ |
| 11月 | 朝日祭
11/23(月・祝) 第7回定期演奏会 |
| 12月 | 12/13(日) ローズパレード出場記念演奏会part3 ～Take Off～
第59回岐阜県アンサンブルコンテスト |
| 1月 | ローズパレード出場
ローズパレード出場報告演奏会 |
| 2月 | 第52回東海アンサンブルコンテスト |

※上記は予定のため、最新の情報は朝日大学体育会吹奏楽部ホームページをご覧ください。



PICK UP ATHLETE

日比野 邑香

Hibino Yuka

保健医療学部健康スポーツ科学科 2年
出身／帝京大学可見高校(岐阜県)

2022年に創部以来、短い期間に輝かしい戦績を収めるとともに、多くの選手がプロテストに挑戦。入谷響選手が合格し、ツアー優勝を果たすなど早くも確かな足跡を残しているのが朝日大学ゴルフ部だ。選手たちの力を磨き、よりレベルの高い舞台で戦うアスリートに育てているのが国内屈指の指導者たち。日本プロゴルフ殿堂顕彰者の森口祐子スーパーバイザーの考えを尹熙喆監督、JLPGAプロフェッショナル会員の河野はるみプロ、さらに阿河徹プロコーチ、若山修毅トレーナーが具現化していく。

指導の軸にあるのは、「個の深化とチーム全体の底上げの両立」。一人ひとりに目を配り、競技力だけでなく、メンタル面や環境適応力、自己管理能力という目に見えない力も育てる。加えて、リーダーシップや協働力を重視し、互いを支え、刺激し合うチーム文化を醸成することで全体の力を高めていく。

この方針を支えるのが、選手の主体性を重視する環境づくりと、科学的根拠に基づく練習だ。夜間でも練習が可能な校内のゴルフ練習場は、弾道計測が可能なシミュレーターやデータ解析も可能なパッティング練習マシン、超スローカメラと連動したスイング分析システムを完備している。提供されるデータは、選手自身がモニタリングすることで、自ら考え、支え合い、挑み続けるチームへの進化に直結。全国学生選手権上位入賞と最終プロテスト進出者の輩出という目標達成につながるはずだ。



有数の指導者と練習メソッドが、全国大会上位入賞とプロへの道を後押しする。

GOLF

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | ゴルフ部 部員数／17名



指導体制

	スーパーバイザー 森口 祐子 JLPGAプロフェッショナル会員／ツアー通算41勝／永久シード		監督 尹 熙喆 朝日大学保健医療学部教授／筑波大学大学院体育科学研究科修了 博士(学術)		コーチ 河野 はるみ JLPGAプロフェッショナル会員／ティーチングプロフェッショナル資格A級プロ
	プロコーチ 阿河 徹 SanDiego Golf Academy 卒業／USGTFゴルフインストラクター		トレーナー 若山 修毅 (株)New inizio代表取締役		

部長 竹島 伸生 朝日大学保健医療学部教授

戦績

- 2025年度
- 2025年度中部女子学生ゴルフ春季大学対抗戦 優勝
- 第62回中日杯争奪中部女子学生ゴルフ選手権 3位／日比野邑香
- JLPGA富士フィルム・スタジオアリス女子オープン ローアマ/小宮千鶴
- 第20回中京テレビ杯争奪中部女子学生ゴルフ選手権 2位／日比野邑香
- 第45回東海テレビ杯争奪中部女子学生ゴルフ選手権 2位／日比野邑香
- JLPGAツアー『ニチレイレディス』優勝/入谷響
- 第66回日本女子アマチュアゴルフ選手権 出場／中道ゆい、春山愛、小宮千鶴、日比野邑香、左奈々、勝見莉衣
- 第61回日本女子学生ゴルフ選手権 出場／左奈々
- JLPGAプロテスト第2次予選 出場／中道ゆい、小宮千鶴、春山愛、日比野邑香、左奈々、渡邊紗弥華
- 第14回兵庫県オープンゴルフフレイドーストーナメント 優勝/日比野邑香
- マイナビNext Heroineゴルフツアー第14戦マイナビカップ 優勝/春山愛

部員の主な出身高校

駒澤大学附属苫小牧／福岡第一／那覇西／聖霊／誓／中京／金沢学院大学附属／沖学園／帝京大学可見／奈良育英／第一薬科大学付属／中部大学第一／岐阜聖徳学園／エナジックススポーツ高等学校

問い合わせ先

部長／竹島 伸生
TEL／058-329-1352
E-mail／takeshima@alice.asahi-u.ac.jp
監督／尹 熙喆
TEL／058-329-1365
E-mail／yun@alice.asahi-u.ac.jp

年間活動内容

4月	中日杯争奪中部学生・女子学生ゴルフ選手権競技 中京テレビ杯中部学生・女子学生ゴルフ選手権 中部女子学生ゴルフ春季大学対抗戦
5月	東海テレビ杯争奪中部学生・女子学生ゴルフ選手権競技
6月	中部学生・女子学生ゴルフ選手権予選会 日本アマチュア・女子アマチュアゴルフ選手権 全国女子大学ゴルフ対抗戦
7月	CBCテレビ杯中部学生・女子学生マッチプレー選手権 JLPGAプロテスト(～11月まで)
8月	中部学生・女子学生ゴルフ選手権 日本学生・女子学生ゴルフ選手権
9月	中部学生・女子学生ゴルフ選手権競技新人戦
11月	会長杯争奪中部学生・女子学生選手権競技
12月	岐阜県学生・女子学生ゴルフ選手権



PICK UP ATHLETE

忠岡 泰太郎

Tadaoka Hirotarou
保健医療学部健康スポーツ科学科 4年
出身／紫野高校(京都府)

朝日大学新体操部の選手たちは、自らが主体となって練習メニューや演技づくりを行う。全日本学生新体操選手権大会3連覇や全日本男子新体操社会人選手権大会4連覇など、数々のタイトルを制してきた臼井優華監督がこうした指導方針で実践しているのは、プレーヤーズセンタードという考え方だ。大きな課題を与える代わりに、選手が中心となって考え、活動できるように、監督やコーチ、保護者が全面的にサポートすることを怠らない。

臼井監督はこれまでの経験を生かし、さまざまな指導方法を使い分ける。技術面では、選手の足りていない部分を引き上げることを意識し、全体のパフォーマンスを伸ばす。メンタル面においては、目標である大会から逆算し、どのような結果を残すか、その結果を達成するために必要な行動は何かを考えさせる。さらに、自ら試行錯誤して創作した演技や技を、監督や部員たちがチェックを繰り返して、クオリティをアップさせていく。質的練習、量的練習を重ねることで、一人ひとりが演技や技を習熟していくのだ。

活動する拠点は、OKB体操アリーナ。広々としたスペースと充実した器具、音響設備や撮影環境も整備され、より質の高い練習を行っている。その成果は、全日本学生新体操選手権大会の個人・団体ともに上位進出につながった。自分たちの練習の方向性に確信を持った選手たちは、さらなる高みをめざしていく。



選手が主体的に考え、演技を磨く。その成果は、全国大会上位進出につながった。

RYTHMIC GYMNASTICS

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | 新体操部 部員数／16名

指導体制



監督 臼井 優華

OKB体操アリーナ指導員／中京大学スポーツ科学部卒業／中京大学体育学研究科修士修了／全日本学生新体操選手権大会(インカレ)3連覇／全日本新体操選手権大会 優勝／全日本男子新体操社会人選手権大会4連覇



コーチ 坂本 匡

NPO総合体操クラブ

部長 本田 亜紀子 朝日大学保健医療学部教授

戦績

2025年度

- 東海北信越学生体操選手権大会 個人総合 優勝
- 西日本学生新体操選手権大会 個人総合 2位 団体競技 3位
- 全日本学生新体操選手権大会 個人総合 8位 団体競技 6位

部員の主な出身高校

名取／済美／北海道恵庭南／高田／尼崎西／紫野／東播工業／前橋工業／鹿児島実業／宝塚北／埼玉栄

卒業後の主な進路

株式会社オリエンタルランド／ダイハツ工業株式会社／三重県警察／株式会社ニチケアバレス

問い合わせ先

部長／本田 亜紀子
TEL／058-329-1371
E-mail／a_honda@alice.asahi-u.ac.jp
監督／臼井 優華
TEL／090-8184-4062
E-mail／yuga.rg.0610@gmail.com

年間活動内容

- | | |
|-----|-----------------------------------|
| 4月 | 東海北信越学生体操選手権大会 新体操の部 |
| 5月 | 西日本学生体操選手権大会 新体操の部 |
| 8月 | 全日本学生新体操選手権大会 |
| 9月 | 新体操フェスタ(全日本男子新体操クラブ選手権) |
| 11月 | 全日本新体操選手権大会
東海北信越学生体操交流会 新体操の部 |
| 1月 | テレビ信州杯 長野県新体操クラブカップ選手権大会 |
| 3月 | 新体操公演(NPO総合体操クラブ主催) |



PICK UP ATHLETE

北川 大輝

Kitagawa Haruki
保健医療学部健康スポーツ科学科 3年
出身／岐阜農林高校(岐阜県)

岐阜県はバスケットボールが盛んな地として名高く、全国大会の上位に進出する高校も多い。熾烈な環境で力を付けてきた人材を岐阜県内で育て上げる場として2024年に新設され、着実な成長を見せているのが、朝日大学バスケットボール部だ。真新しいチームを率いるのは禿隆一監督。アメリカの大学でのマネージャー経験があり、帰国後も日本の大学でコーチを務め、3年連続のインカレ出場に導いた実績もある。

監督が求めるのは、バスケットボールを楽しむこと。そして、自ら考え、意見を伝え、自立した選手になることだ。主体性を重視し、掲げる目標もチーム全員で決める。人としての成長を見据え、戦術や技術を磨くための土壌づくりを大切にしているのだ。実際に、選手たちは自らが決めた東海学生3部リーグ昇格、さらに2部リーグ昇格という目標を次々と達成し、次のステージへと足を運んだ。サポート体制の構築も急ピッチで進んでいる。目標とする1部リーグや全国で戦えるようにフィジカル強化を担う、ストレンジスコーチが2025年から参画。強豪校との試合や遠征なども予定し、実戦的な技術の習得に余念がない。

地域活動にも積極的で、バスケットボール教室や瑞穂市スタートアップ事業で子どもたちへの指導も行う。選手たちは対戦相手だけでなく、試合に関わる審判など、すべての方々へ敬意を払い試合に臨む。芽吹き始めた彼らが実を付け、花を咲かせる日も近い。



勝つ喜びを体感しながら、次のステージへ。全国大会をめざした歩みが続く。

BASKETBALL

ASAHI UNIVERSITY 16 CLUBS | バスケットボール部 部員数／30名

指導体制



男子監督 禿 隆一 (かむろ りゅういち)

朝日大学保健医療学部講師／University of Northern Colorado(米国)卒業／大阪体育大学大学院修了／2008～2013年度 近畿大学バスケットボール部コーチ(最高成績インカレベスト4)／2014～2016年度中京大学女子バスケットボール部コーチ(3年連続インカレ出場)。2024年朝日大学バスケットボール部監督就任



ストレンジスコーチ 大洞 裕和
和 kaz training support

部長 北後 光信 朝日大学歯学部准教授 副部長 古田 憲司 朝日大学学生・スポーツ支援課スポーツ支援室長／ぎふ瑞穂スポーツガーデン理事長

戦績

2025年度
● 第96回東海学生3部リーグ 優勝・2部昇格
● 第63回東海学生バスケットボール大会 ベスト16
● 第75回西日本学生バスケットボール選手権大会 出場
● 岐阜県総合バスケットボール選手権大会 出場

部員の主な出身高校

岐阜農林/大垣工業/富田/美濃加茂/大垣養老/津工業/尾鷲/伊賀白鳳/津田学園/沼津中央/春日井西(FE名古屋U-18)/瀬田工業/東山(京都ハンナリーズU-18)/岡山商科大附属/豊見城/沖縄水産/那覇商業/等

問い合わせ先

監督／禿 隆一
TEL／058-329-1374(研究室)
E-mail／r-kamuro@alice.asahi-u.ac.jp

年間活動内容

4月～5月 東海学生バスケットボール大会
6月 西日本バスケットボール選手権大会
岐阜県総合バスケットボール選手権大学予選
7月～8月 強化練習及び遠征(予定)
8月 岐阜県総合バスケットボール選手権
9月～10月 東海学生バスケットボールリーグ戦
11月 東海学生リーグ入替戦
3月 強化合宿(沖縄)及び遠征(関西強化リーグ)

GMSG

朝日大学を拠点とした総合型地域スポーツクラブ
公益社団法人
ぎふ瑞穂スポーツガーデン



2012年に開催された「ぎふ清流国体」の成果を一過性に終わらせることなく、競技スポーツの振興とスポーツを通じた地域づくり、健康づくりの推進に寄与することを目的として設立されたのが公益社団法人ぎふ瑞穂スポーツガーデンです。朝日大学内に事務局を設置するとともに、大学の施設を拠点として、地域スポーツとトップスポーツの好循環を創出。地域の子どもたちをはじめさまざまな方を対象に、多彩な活動を行っています。

ぎふ瑞穂スポーツガーデンの主な活動

トップアスリートの育成

ぎふ瑞穂スポーツガーデンに所属する社会人チーム、朝日大学体育会を対象として、公式試合や強化練習の参加・実施などに関するサポートを行い、日本トップレベルのアスリートの育成を行っています。



ガーデン所属県強化指定選手
(スキー：コンバインド)



朝日大学体育会
(野球)

スポーツ教室や健康教室を開催

地域の方々が気軽にスポーツを楽しめるようにスポーツ教室を開催。子どもたちにはホッケーやラグビー、フェンシングなどを体験する機会を設けるとともに、成人向けには卓球や水泳教室・スポーツレクリエーション教室を開催しています。このように、ジュニアからシニアまで、地域の健康づくりを推進しています。



卓球教室



本巣市放課後チャレンジクラブ
(フェンシング)

地域スポーツとトップスポーツの連携

朝日大学体育会や社会人チームの選手が、地域の子どもたちを対象としたスポーツ体験会を開催。選手一人ひとりのハイレベルな技術を、将来のトップアスリート育成に生かす活動を行っています。また、岐阜県内の小学校の体育授業へもトップアスリートを指導者として派遣。子どもたちとスポーツの出会いの場を提供しています。



瑞穂市スタートアップ事業(ラグビー)



金藤選手の授業支援(水泳)

ASSC

体育会各部の競技力と管理・運営能力を高め、
地域へつなぐ活動も計画中。
朝日大学スポーツ支援センター



朝日大学スポーツ支援センターは、競技力はもちろん、選手の学生生活を多面的にサポートするとともに、体育会全体の管理・運営能力向上をめざした支援を行っています。また、朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科と連携し、調査・研究結果を競技力向上に活用。これらの成果を地域のスポーツ振興に生かす活動を、ぎふ瑞穂スポーツガーデンと展開していきます。

朝日大学スポーツ支援センターの主な取り組み

スポーツ振興のための関連業務

体育会活動に関わる業務・スポーツ施設の管理運営・行政や企業、団体との連携など。

学生アスリートの支援

学業や就職活動の支援・コンプライアンス意識向上への取り組みなど。

スポーツ関連分野の調査・研究

スポーツ教育の支援・科学的トレーニングおよびパフォーマンス向上の支援など。

これまでの活動の成果が、UNIVASの評価として結実

UNIVAS安全安心認証制度の認定証を取得

一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)は、すべての競技の安全安心レベルを向上させることを目的に、「UNIVAS安全安心ガイドライン」を設定されています。事故情報の共有、予防措置などガイドラインに設定された評価項目の基準を満たした朝日大学は、2026年2月にUNIVAS安全安心認証制度の認定証を取得。運動部の学生一人ひとりが安全で安心してスポーツに取り組める環境を、さらに整備していきます。



UNIVAS AWARDS 2025-26に2人の学生が選出

優秀な成績を収めた選手の他、さまざまな角度から大学スポーツ界の発展に貢献した学生や関係者を表彰する「UNIVAS AWARDS 2025-26」に、朝日大学の学生2人が選出されました。

ウーマン・オブ・ザ・イヤー 優秀賞／浅田 真奈：卓球部4年(2025年度)
入賞／春山 愛：ゴルフ部2年(2025年度)



浅田 真奈 卓球部4年



春山 愛 ゴルフ部2年

健康スポーツ科学科 演習棟



専門教育の実験実習科目について、スポーツ生理学実験実習室・スポーツバイオメカニクス実験実習室を整備するとともに、スポーツ実技の授業のため、学生用のシャワールームを備えている。

バレーボール・バスケットボール場



それぞれのコートが各1面確保できる専用練習場。ミーティングルームやトレーニングルーム、更衣室、シャワールームなどを完備している。

テニスコート



ハードコート3面と人工芝オムニコート3面。2種類のコートサーフェスで常時練習することが可能。全コートに照明設備も完備。

野球場



両翼92m、センター120mのスケールで、内外野ともに人工芝、内野には照明塔4基を設置。さらに観覧室とダッグアウト、ブルペンを備える。

16

各種施設 Sports Facilities of Asahi University

キャンパス内の随所に
専用練習場を備え、
スポーツに打ち込める環境を提供。

スポーツ活動をバックアップするため、キャンパス内に強化指定種目の専用練習場を整備。競技の特性に応じて設けられた各種施設は、全国でも屈指の充実ぶり。学生アスリートたちにとって理想的な練習環境が整っている。

フェンシング場



4ピスト同時に利用できる県内随一の広さを誇るフェンシング専用施設。冷暖房、更衣室、シャワールーム、各種トレーニングマシンを完備。

相撲場



床と土俵に三重県産の赤土を使用。土俵2面と、てっぼうの鍛錬を行う柱に加えて、練習後に汗を流せるお風呂、簡単な調理ができる炊事場を完備。

卓球場



部員全員が同時に練習できるように9台の卓球台を設置。冷暖房はもちろん、男女更衣室、シャワールーム、器具庫も備えている。

ゴルフ練習場



4つの練習打席と弾道測定機を設置した打席は、照明付きのため夜間でも使用可能。クラブハウスは、ミーティングルームなどを備えている。

ラグビー場



10,200m²(フィールド65m×132m)のグラウンドに、天然芝に限りなく近いワールドカップ・ストライプ仕様の人工芝を使用。

屋内野球練習場



ゆとりのあるスペースに全面人工芝を敷きつめた県内屈指の本格的施設。雨天時の練習など、年間を通してフルタイムのトレーニングができる。

陸上競技施設



トラック競技(短距離走、リレー、ハードル走など)用のタータン走路(70m、6コース)を整備し、同タータン走路の一部を利用してフィールド競技の走り幅跳び、三段跳び、走り高跳びができる。

吹奏楽部習練場



2階建ての練習棟は、部員全員がそろって練習する習練場、8室のパート練習室、スタッフ控室、そして楽器倉庫を備えている。

ハンドボール場



全天候型ウレタン舗装のハンドボールコート(40m×20m)を整備し、夜間でも使用できるようLED照明を設置。常時練習することが可能。

トレーニングルーム



エアロバイクやレッグプレスなどの各種マシンを設置。専属トレーナーの確かな指導のもと、強化クラブの選手たちが筋力アップに励む。

ホッケー場



東京五輪仕様で国際品質のウォーターベース人工芝スタジアム。照明、クラブハウス、駐車場なども備えている。

剣道場



冷暖房を完備した2面構成の剣道場。男女更衣室やシャワールームを備えている。柔らかな構造の床を採用し、足腰への負担を軽減している。



総合グラウンド

スポーツに専念するため、体調・健康をきめ細かく見守る。

スポーツの専門医が、365日学生をサポート。

朝日大学は朝日大学医科歯科医療センター、朝日大学病院、そしてPDI岐阜歯科診療所を備え、それぞれが地域に欠かすことのできない医療施設となっている。これは、とりもなおさず学生アスリートにとっても最上の環境が整っていることになる。万一、ケガをした場合はもちろん、日々の体調管理もプロ選手の治療経験を持つ専門医などが、最新の体幹トレーニング機器やさまざまなマシンを活用して行っている。勝つために、そして4年間スポーツを続けるために、365日体調管理を委ねることができる強い味方がここにそろっている。



朝日大学病院

JR岐阜駅西隣に立地する381病床の総合病院。最新の設備を備え、診断から治療、手術、リハビリテーションまで学生をフルサポートしている。



朝日大学医科歯科医療センター

歯科全般の専門治療を行うとともに、内科、さらにはスポーツ外傷などのケア、シーズン前のメディカルチェックなども行う。穂積キャンパス内に併設されているため、治療を受けながらの通学も可能。授業を休むことなく復帰できる環境が整っている。



PDI岐阜歯科診療所

歯学部卒業直後の研修機関として、専門的な歯科診療を実施。朝日大学医科歯科医療センター、朝日大学病院と連携し、学生アスリートを積極的にサポートしている。

朝日大学のメディカルサポートの手厚さは、練習や試合中のアクシデントに速やかに処置を施すことができる体制づくりにも現れている。遠征や合宿にもメディカルスタッフを帯同し、いつでも駆けつけられるよう準備をしている。

このほか、歯学部の専門医師がマウスピース・マウスガードを製作し、口腔内のケガ予防につなげているのも朝日大学ならではのユニークな取り組み。まさに全方位で一人ひとりの毎日を見守り、安心を育んでいる。

三つの医療機関での診療費自己負担分を補助。

もしケガをして、治療を受けなければならなくなった場合、心配になるのがその費用。手術が必要になった場合はなおさら負担が増す。しかし、こうした診療費にも朝日大学の目がしっかりと行き届く。朝日大学の医療機関である朝日大学医科歯科医療センター、朝

日大学病院、そしてPDI岐阜歯科診療所における診療費の自己負担分を、保険診療の場合は全額、自己診療の場合は半額補助する診療費補助制度を設定している。もし治療が長期にわたったり、リハビリに取り組んだりしなければならなかったら――。その場合でも診療費を気にすることなく回復に専念できることは、学生アスリートにとっても保護者にとってもうれしい制度だと言える。

一人ひとりの競技生活を支える環境を整備。

穂積キャンパス内に設けられた朝日大学医科歯科医療センター、JR岐阜駅西隣という恵まれた立地条件にある朝日大学病院、そして専門的な歯科診療を実施しているPDI岐阜歯科診療所。それぞれには経験豊かな医師がそろう、学生アスリートの体調管理、ケガの診療などを行っている。



スポーツドクター 塚原 隆司

朝日大学歯学部教授／名古屋大学医学部卒業／(財)日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本整形外科学会専門医／朝日大学病院スポーツ整形外科、健康管理センター長／FC岐阜、豊田自動織機シャトルズ、ホッケー日本代表サムライジャパンチームドクターを歴任

Athlete's Voice

土俵に復帰するため、大学のサポートを受けながらリハビリを継続できました。

小学生の頃から全国大会に出場してきた実績が評価され、朝日大学に入学。2年生のとき、西日本選抜学生相撲大会の出場メンバーに選ばれました。しかし、大会直前の6月に、激しいぶつかり稽古で膝を損傷。朝日大学病院での診療結果は、右膝前十字靱帯の断裂でした。大会出場はかなわず、夏期休暇に入ってすぐに手術することが決まりました。

術後のリハビリは想像以上に過酷で、激痛との戦いでした。それでも「絶対に治して土俵に戻る」という一心でリハビリを継続。その甲斐あって、9月からは相撲場で上半身のトレーニングを始め、現在は下半身のトレーニングも再開しています。再び稽古できるようになったのは、自己負担がない医療費補助制度など、大学の手厚いサポートがあったからこそ、と感謝しています。

伊藤 大翔

保健医療学部健康スポーツ科学科3年／体育会相撲部 鳥羽高校卒業(京都府)



CAREER SUPPORT

体育会学生の主な進路状況(2025年3月卒)

【農業】 ●静岡農産 【サービス】 ●ヤマ・スポーツクラブ ●ブレスステージ・インターナショナル ●月島ジェイテックメンテサービス ●ジェインシップウエスト ●三菱電機システムサービス ●JBイレブン ●ホクレン農業協同組合連合会 ●JAぎふ ●JAおきなわ 【サービス/会計・税理士事務所】 ●太陽有限責任監査法人 ●PwC Japan有限責任監査法人 ●有限責任あずさ監査法人 ●有限責任監査法人トーマツ ●EY新日本有限責任監査法人 ●東陽監査法人 【商社・卸小売】 ●橋本総業	●鹿港電機 ●西原商会 ●サントリービバレッジソリューション ●ブリヂストンタイヤソリューションジャパン ●岐阜トヨタ自動車 ●トヨタL&F中部 ●ネクステージ ●パロ・ホールディングス ●ガオホールディングス ●ゲンキー ●福井精米 【製造】 ●東レ ●マツダ ●住友電気工業 ●大和工業 ●高田工業所 ●豊田スチールセンター	●日本卓球 ●熊本酸素 ●リスバック ●ガット ●ヒサダ ●清水生コンクリート ●日本ブラスタ ●早助屋 【建設・住宅関連・不動産】 ●日本INGS ●ヤマカ木材 ●大旺新洋 ●高藤組 ●大冷工業 ●プレサンスコーポレーション ●一条工務店仙台 ●植田建設 ●ヨシミ建設 ●ネクサスジャパン ●大成ロテック	●西日本旅客鉄道 ●西濃運輸 ●ANA中部空港 ●ANA福岡空港 ●ホンダロジコム 【金融・保険】 ●富山銀行 【医療・福祉】 ●SACC ●岐阜健康管理センター 【公務】 ●佐賀県庁 ●東近江市役所 ●防衛省自衛隊 ●警視庁 ●長野県警察 ●岐阜県警察 ●愛知県警察 ●大阪府警察	●兵庫県警察 ●高知県警察 ●熊本県警察 ●佐賀県警察 ●名古屋市消防局 ●新潟市消防本部 ●常滑市消防本部 ●上野警察消防組合消防本部 ●神戸刑務所 【教育・学習支援】 ●熊本県教育委員会(講師) ●北海道教育委員会 ●岐阜県教育委員会 ●鹿児島県教育委員会 ●九州中村高等学校(九州産業大学付属九州高校) ●富田学園(岐阜東高校)
--	--	---	--	---



朝日大学(ASAHI)の学生がキャリアアップするために、成長(GROWTH)と機会(OPPORTUNITY)を提供する場として設けたAGOは、企業の最新情報や就職関連の資料、書籍などがそろった就職活動の拠点。担当教員や職員と1対1で相談ができる環境も整えている。

2025年3月卒業
体育会学生
就職希望者内定率

100%

卒業者数 124名

就職希望者数 114名

内定者数 114名

全学一丸となった就職サポートで、高い内定率を実現。
企業の高い採用意欲を反映し、売り手市場と言われている昨今、朝日大学は100%(2025年3月卒業実績)とずば抜けて高い内定率を達成している。その大きな要因が、朝日大学アスリートの能力の高さ。前へ突き進む力、考え実行する力、自分の役割を全うする力という「文武両道」の能力

は実社会で高く評価され、さまざまな分野で活躍する原動力になっている。
また、学生一人ひとりと一緒に歩みながら内定まで導いていく手厚い就職サポートも、高い内定率を支える力。学生の就職活動の拠点であるAGOをフル活用しながら、教員・職員がきめ細かい指導を行うことで、希望に沿った企業や自治体などに多くの卒業生を送り出している。

朝日大学アスリート サポート・システム③ 就職サポート
競技生活と両立させた就職指導で、ベストマッチをかなえる。

Athlete's Voice

3年から対策講座を受講。練習と勉強を両立しながら、夢をかなえました。

高校時代はあと1勝というところで甲子園出場を逃しましたが、監督からの勧めもあって朝日大学で野球を続ける道を選びました。実は、大学に進学しないで消防士になる道も検討しました。幼い頃から消防士に憧れ、命や暮らしを守る仕事に就きたいと考えていたからです。「野球をやり切ったら、夢をかなえよう」と考えた私は、3年から大学で行われる公務員教養試験対策講座を受講。配点の高い数的推理を重点的に勉強しました。講座と硬式野球部の活動が重なるときは監督の理解を得て練習時間を調整し、勉強に取り組んだ結果、岐阜市消防本部の採用試験に合格できました。現在の目標は現場で直接命を救うレスキュー隊員になること。オレンジの制服に身を包み、市民の役に立てるように訓練に励みたいと思います。

田中 春陽

就職/岐阜市消防本部
保健医療学部健康スポーツ科学科卒業/体育会硬式野球部
岐阜市立岐阜商業高校卒業

FINANCIAL SUPPORT

朝日大学アスリート サポート・システム② ファイナンシャルサポート
経済的な負担を軽減し、スポーツ活動・学生生活を支える。

返還不要の奨学金を用意。
朝日大学では、体育会学生を支える、独自の奨学金制度として「スポーツ奨励奨学金」を用意。給付型のため、卒業後も返還の必要がないという、うれしい支援が受けられる。

スポーツ奨励奨学金

すぐれた競技実績を持つ学生に対して、学習意欲、経済的必要性、人物を総合的に審査し、奨学金を給付。

体育会学生用の寮やアパートを紹介。

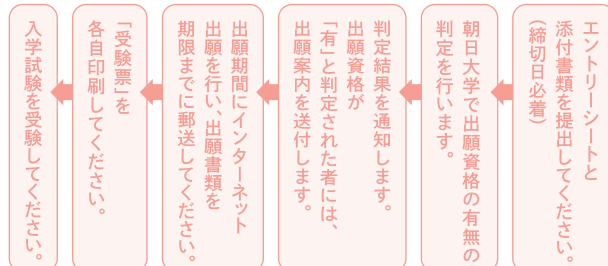
学生の生活費において、住まいに関わる費用が占める割合は大きいものがある。特にアル

バイトをする時間が限られている学生アスリートにとって、大きな負担になることは避けられない。こうした状況を考慮し、朝日大学はリーズナブルな体育会学生用アパートの紹介、さらには女子学生専用の寮を完備。一人暮らしを経済的に支えるとともに、寮では安全性にも配慮して、安心な学生生活を確保している。

指定種目でスポーツ推薦制度を設定。

過去にすぐれた成績を収め、入学後も該当のスポーツ活動を継続する意思を持つ学生には、朝日大学の専断を前提としたスポーツ推薦制度を用意している。

推薦入試の流れ



※エントリーを希望する者は、あらかじめ入学後に所属を希望する本大学体育会クラブと連絡を取る必要があります。各クラブの連絡先は入試広報課までお問い合わせください。

入試広報課 058-329-1088



○体育会寮

フェンシング場に隣接して女子学生専用の寮を用意。鉄骨3階建の建物に個室、共同の調理室、食堂、洗濯乾燥室を設けている。また、防犯カメラ、寮独自の外灯、アラームシステムなどを整え、安全性に配慮している。

詳細は学生・スポーツ支援課までお問い合わせください。 Tel.058-329-1082

Athlete's Voice

スポーツ奨励奨学金の利用で、経済的に不安なくホッケーや学業に専念できます。

高校からホッケーを始めた私は、練習や試合を続けるうちにどんどん楽しくなり、この競技を続け、もっと深く知りたと思うようになりました。朝日大学を選んだのは、地元の先輩から「ホッケーを続けるならこの大学がいい」と紹介されたこと、そして優れた指導者がいらっしやったことが決め手に。加えて、大学による経済的なサポートが充実している点も大きな魅力でした。
私はスポーツ奨励奨学金を利用しているため、学費は全額免除。家具が揃っている女子寮は、光熱費を含めた家賃が非常に安価で、セキュリティ設備も充実しています。また、ケガや体調が悪くなった際は医療費補助制度を利用して治療できるのもうれしいサポート。ホッケーに、学業に安心して専念できる日々を送っています。

山内 愛子

経営学部経営学科4年/体育会ホッケー部
川棚高校卒業(長崎県)

